

改定諸式式文

典礼委員会

その日の序詞《特別序詞》

2020.7.15 版
式文委員会

1) 聖木曜日

◎主イエス・キリストは、弟子たちの足を洗い、愛の模範を示し、私たちのために聖なる晩餐を定められました。私たちは、主の食卓につき、キリストと一つにされ、互いに愛し、仕えて生きる、新しいいのちに招かれました。

◎主イエス・キリストは、いのちのパンであり、私たちのために、新しい永遠の契約である聖なる晩餐を定められました。私たちは、主と共に食卓につき、キリストと一つにされ、互いに一つとされます。

2) 主の復活の夜

◎この聖なる夜、あなたは、墓の暗闇から新しい創造の朝を昇らせ、主イエス・キリストにより、永遠の住まいを用意されました。私たちは、キリストとともに死に、復活によって、新しいいのちを生きるのです。

3) 宗教改革

◎あなたは、主イエス・キリストによって、教会に、真理の証し人を興してください。絶えることのない教会の改革によって、あなたの福音の光が消えることなく、常にすべての人に救いを輝かせてください。

4) 永遠の王キリスト（聖霊降臨後最終主日）

◎あなたは来るべき日に、主イエス・キリストによって、救いを完成し、新しい天と地を治められます。私たちはこの世の何ものにも支配されません。主イエス・キリストだけが、まことの王、まことの主です。

5) 主の誕生告知(3/25)・マリアのエリサベト訪問(5/31)・主の母マリア(8/15)

◎あなたは、この世の力ある者をその座から引き下ろし、低くされている者を高められます。飢えている者を良いもので満たし、富める者を空腹のままに追い返されます。神の母として選ばれたマリアは、（聖霊によって）主イエス・キリストを身ごもりました。

6) 通常（主に典礼色が緑の季節に用いる。週日に行われる聖餐の際に用いることもできる。）

◎あなたは、この世界を救うため、主イエス・キリストを送られました。私たちが主の死によって罪の赦しを受け、主の復活によって命を得るためです。

◎あなたは、み力によってこの世界のすべてを創り、あなたに似せて私たちに創造されました。あなたは私たちに被造物を委ね、創造の偉大な業を宣べ伝えるよう定められました。

◎主イエス・キリストによって、日の昇るところから沈むところまで、あなたの聖なる御名はたたえられます。キリストの光により、すべての被造物は祝福に満たされ、喜びにあふれます

7) 大晦日・新年（年度末・年度初め）

◎主イエス・キリストを通して一年は過ぎ去り、主によって私たちは新しく創られます。あなたの大きな憐れみによって、私たちは生き生きとした希望へと新たにされます

☆青式文の「顕現節」の序詞は、「主の顕現」・「主の洗礼」・「主の変容」のみに用い、他の顕現後の主日・週日（典礼色が緑の日）は、青式文の聖霊降臨後の主日のものか、上記6「通常」のいずれかを用いる。

灰の水曜日礼拝

2020・7・15 版

式文委員会

1. つどいのうた

2. 御名による祝福

司式：父と子と聖霊の御名によって。

会衆：アーメン

3. はじめに

司式：私たちの主イエス・キリストは、ガリラヤで、神の福音を宣べ伝えて言われました。「時は満ちた。神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」。「わたしが来たのは、あなたがたが命を受けるため、しかも豊かに受けるためである。」

私たちはこの日（朝・夕べ）、四旬節のはじめの日、灰の水曜日に、御前に集められました。

みことばを聞き、罪を告白し、信仰が強められて、聖い生活ができるように祈り願うためです。

4. つどいの祈り

司式：祈りましょう。 ※以下のいずれかの祈りを用いる。

司式：永遠に生きておられる全能の神様。あなたはお造りになったものを何一つ憎まず、悔い改めた罪人を赦してください。私たちの内に清い心を造り、心から罪を悔い改め、神の憐れみと赦しを御子から受け取らせてください。あなたと聖霊とともにただ独りの神、永遠の支配者、御子、主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

または

司式：恵み深い神様。あなたは愛と憐れみによって、塵に命の息を吹き込み、あなたと隣人に仕えるために、私たちを創られました。私たちの祈りとよき業を呼び起こし、御子の憐れみに信頼して御心にふさわしく立つことができるよう私たちを強めてください。あなたと聖霊とともにただ独りの神、永遠の支配者、御子、主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

5. 第一の朗読

司式：御言葉を聞きましょう。

朗読者：本日の第1の朗読は、ヨエル書2章12節から始まります。

ヨエル書2章12～19節

朗読者：第1の朗読を終わります。

6. 詩編唱 詩編51編3～19 ※詩編51編を題材にした詩編歌を用いてもよい。

司式：神よ、わたしを憐れんでください、慈しみをもって。

会衆：あなたの深い憐れみをもって、背きの罪をぬぐってください。
司式：わたしの咎をことごとく洗い、
会衆：罪から清めてください。
司式：神よ、あなたに背いたことをわたしは知っています。
会衆：わたしの罪は常にわたしの前に置かれています。
司式：神よ、あなたに、あなたにのみわたしは罪を犯し、御目に悪事と見られることをしました。
会衆：あなたの言われることは正しく、あなたの裁きに誤りはありません。
司式：わたしは咎のうちに産み落とされ、
会衆：母がわたしを身ごもったときも、わたしは罪のうちにあったのです。
司式：あなたは心の奥に真実を求め、
会衆：隠れたところで知恵を悟らせてくださいます。
司式：ヒソプの枝でわたしの罪を払ってください、わたしが清くなるように。
会衆：わたしを洗ってください、雪よりも白くなるように。
司式：喜び祝う声を聞かせてください、あなたによって砕かれたこの骨が喜び躍るように。
会衆：わたしの罪にみ顔を向けず、咎をことごとくぬぐってください。
司式：神よ、わたしの内に清い心を創造し、
会衆：揺るがぬ霊をわたしの内に新しくしてください。
司式：わたしをみ前から捨てず、
会衆：あなたの聖なる霊を取り上げないでください。
司式：あなたの救いの喜びをわたしに返し、
会衆：喜び仕える霊を与えて、わたしを支えてください。
司式：神よ、わたしはあなたの道を教えます、あなたに背く者に。
会衆：罪人がみもとに立ち帰るように。
司式：神よ、わたしの救いの神よ、流血の災いからわたしを救い出してください。
会衆：わたしの舌は恵みのみ業を喜び歌います。
司式：主よ、わたしの唇を開いてください。
会衆：わたしの口はあなたの讚美を歌います。
司式：もしいけにえがあなたに喜ばれ、焼き尽くす献げ物がみ旨にかなうのなら、
会衆：わたしはそれをささげます。
司式：しかし、神の求めるいけにえは打ち砕かれた霊。
会衆：打ち砕かれ悔いる心を、神よ、あなたは侮られません。
（司式：父と子と聖霊の神に栄光
会衆：はじめも今も永遠に限りなく アーメン）

7. 第二の朗読

朗読者：本日の第2の朗読は、コリントの信徒への手紙二5章20節から始まります。

コリントの信徒への手紙二5章20節～6章2節

朗読者：第2の朗読を終わります。

8. 詠唱

会衆：キリストは、へりくだり、死に至るまで、十字架の死に至るまで従順でした。

9. 福音の朗読

朗読者：本日の福音はマタイによる福音書6章1節から始まります。

会衆：栄光は主に。

マタイによる福音書6章1～6節

朗読者：福音書の朗読を終わります。

会衆：賛美はキリストに。

10. 説教

11. みことばのうた (灰の水曜日・四旬節・ざんげ・神の招き・ゆるしなどのカテゴリーより)

12. すすめの言葉

司式：(愛するみなさん。) 私たちの主である神は、私たちが神との交わりを喜び、すべての人類を愛し、あらゆる被造物と調和を保って生きるように、私たちが創造されました。しかし、私たちの罪が、神と隣り人とあらゆる被造物から、私たちが引き離し、造り主である神が望んでおられるように、私たちが喜びをもって生きることをできなくしてしまっています。私たちが裁くことではなく、御許に立ち返って生きることを望んでおられる父である神を悲しませているのです。私たちの主イエス・キリストに従って、主とともに歩む弟子として、神と隣り人への愛から引き離すあらゆる事柄と闘うように、私たちは招かれています。悔い改め、断食、祈り、そして、愛の働きなど、これら四旬節に行う鍛錬は、私たちが霊的な闘いを闘う際に有益な助けとなります。(どうぞ、みなさんも) この闘いに加わり、自らの罪をざんげし、それぞれの鍛錬を最後まで闘い抜く力が与えられるように、恵みの神に祈り求めましょう。

13. 罪の告白とざんげ

※ ここで一同は、自らを見つめ、今までの歩みを省みるため、しばらく沈黙する。その後、以下を行う。

司式：憐れみ深い聖なる神様。あなたと、ここに集っているみなさん、そして、天と地のすべての聖徒たちの前で、私(たち)は告白いたします。

私(たち)は、思いと言葉と行い、また、怠りと無関心によって、罪を犯しました。

私(たち)は、心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたを愛することをせず、隣人を自分自身のように愛することもしてきませんでした。あなたが私(たち)を赦してくださったように、私の隣り人を赦しませんでした。

会衆：主よ、憐れんでください。

司式：「わたしがあなたに仕えたように、あなたがたも互いに仕え合いなさい」との御子の呼びかけに、私(たち)は耳を開ぎしてきました。御子の御旨に、私(たち)は真実ではありませんでした。私(たち)はあなたの聖霊を悲しませています。

会衆：主よ、憐れんでください。

司式：主よ、今までのすべての不信仰をあなたに告白いたします。うぬぼれや偽善、生活の中で忍耐を怠ってきたことを、

会衆：主よ、あなたに告白いたします。

司式：隣人に自分勝手な不満や怒りを感じ、自分より幸せに見える人々に嫉妬をしてきたことを、

会衆：主よ、あなたに告白いたします。

司式：この世の物質や快楽に過度に執着し、日々の生活と働きに誠実でなかったことを、

会衆：主よ、あなたに告白いたします。

司式：祈ることや礼拝することを怠り、あなたに十分に委ねることをしてこなかったことを、

会衆：主よ、あなたに告白いたします。

司式：主よ、私（たち）が犯してきた過ちに対する悔い改めを受け入れてください。人々の必要や損害に目を閉ざし、不正義や残酷な出来事に無関心でした。

会衆：主よ、私たちの悔い改めを受け入れてください。

司式：隣人を誤って裁き、慈悲をもって接することなく、自分と異なる立場にある人々に偏見と軽蔑の思いを抱いてきました。

会衆：主よ、私たちの悔い改めを受け入れてください。

司式：あなたが造られた世界を汚染し、大切な資源やいのちを浪費し、後に続く人々への責任を果たすことをしてきませんでした。

会衆：主よ、私たちの悔い改めを受け入れてください。

司式：よき方であられる、主である神様。私たちをあなたのものとして取り戻し、あなたの怒りを私たちから取り去ってください。

会衆：主よ、あなたの大きい憐れみのゆえに私たちの願いをお聴きください。アーメン

14. 罪の告白の結び

司式：神様。私たちのうちで、あなたの救いのみわざをなしとげてください。

会衆：私たちは世に輝くあなたの栄光を仰ぎ見ます。

司式：あなたの御子、私たちの主イエス・キリストの十字架と受難によって、

会衆：すべての聖徒たちとともに、主の復活の喜びへと私たちを導いてください。

※ 伝統的にはこれより灰を用いた典礼が行われる。灰は以下のものを用いる。

◎ 前年の主の受難の主日の礼拝の冒頭で（主のエルサレム入城を覚えた際に）用いた（棕櫚やソテツ、ロベ、フェニックス、あるいは地域で特色ある植物などの）枝や葉を燃やして灰にしたもの。

◎ 前年の受難の主日の礼拝で上記の植物をその日の礼拝の花とともに飾り、その枝や葉を保管しておき、それを燃やして灰にしたもの。

◎ そのいずれもない場合は、その他の植物の（乾燥した）枝や葉を燃やして灰にしたもの。

15. 祝福を願う祈り ※ 灰を用いない場合には、以下の下線部分を（カッコ内）の文言に替えて用いる。

司式：（愛するみなさん）悔い改めのしるしとして額に灰を受ける私たちを（罪を悔い改め、新しい歩みを願う私たちを）、主である神が豊かに祝福してくださるよう、心から祈りましょう。

司式：慈しみ深い神様。あなたは、へりくだって、罪の贖いを願い求める者を受け入れ、ゆるしを与えられます。私たちの祈りに耳を傾け、この灰を受ける（御前に悔い改める）あなたの民に祝福を注ぎ、きょうから始まる四旬節の日々を豊かに導いてください。私たちの主イエス・キリストによって。

会衆：アーメン。

16. 塗 灰

※ ここで会衆は前に進み出て、牧師は、一人一人の額に十字の印に灰を塗りながら以下の言葉を言う。灰は、礼拝終了後に各自で拭き取る。

※ 灰を用いない場合には、可能であれば会衆は自らの席の前に跪いて、あるいは起立して頭を垂れ、牧師は会衆に向かって次の言葉を言う。

牧師：「あなたは塵からとられたものだから、塵に帰る。悔い改めて福音を信じなさい」

会衆：アーメン

17. ゆるしの祈願

司式：私たちの主イエス・キリストの父である全能の神は、罪人の死を望まず、私たちが悪しき思いと生活から立ち返ることを望んでおられます。私たちが日々行うことが神を喜ばせ、残りの人生が純粋にきよくあることができるように、そして終わりの日に永遠の喜びへと至ることができるように、まことの悔い改めと聖霊を私たちに与えてくださることを主に感謝します。私たちの主イエス・キリストによって。

会衆：アーメン

※ 聖餐が行われる場合、以下の通り、主日礼拝式文の「とりなしの祈り（教会の祈り）」に続く。（主の受難と復活によって与えられる赦しと生命を心に刻むために、この礼拝で聖餐が行われることがふさわしい。）

※ 聖餐が行われない場合の式順については、後述する。

18. とりなしの祈り／教会の祈り

19. 平和の挨拶

20. 聖餐のうた

21. 序詞

22. その日の序詞

23. 聖なる聖なる（サンクトゥス）（うたわずに唱えても可）

24. 設定

25. 主の祈り

26. 神の小羊（アグヌス・デイ）（うたわずに唱えても可）

27. 聖餐への招きと配餐

28. 配餐後の祝福

29. 聖餐の感謝

30. シメオンの賛歌（ヌンク・ディミティス）（うたわずに唱えても可・省略してもよい）

31. 感謝のささげもの

32. 派遣の祈り ※ 派遣の祈りとして以下の通り祈る。

司式：憐れみ深い神様。今日から始まる（四旬節の）40日の旅をともに歩んでください。貧しい

人たちに分かち合い、困窮する人たちのために祈る者となり、自己を満たすことから離れ、何よりも、私たちの救い主であり主である、御子イエス・キリストの命のうちにある宝を見つけることができるように、洗礼の賜物によって私たちが新しくしてください。御子は、あなたと聖霊と共にただ独りの神、永遠の主です。

会衆：アーメン。

33. 派遣のうた

34. 祝福

司式：愛と憐れみの神の祝福があなたとともにあるように。父と子と聖霊の御名によって。

会衆：アーメン

35. 派遣のことば

司式：主の十字架を心に刻み行きましょう。主の平和のうちに。仕えましょう。主と隣人に。

会衆：(アーメン) 私たちは行きます。神の助けによって。

※ 聖餐を行わない場合には、ゆるしの祈願に続き以下の式順で行う。

- | |
|--|
| <p>18. シメオンの賛歌 (うたわずに唱えても可) (省略してもよい)</p> <p>19. とりなしの祈り／教会の祈り</p> <p>20. 主の祈り</p> <p>21. 感謝のささげもの</p> <p>22. 派遣の祈り (上記の聖餐を伴う礼拝の「派遣の祈り」に記載した文言を用いる)</p> <p>23. 派遣のうた</p> <p>24. 祝福 (上記の聖餐を伴う礼拝の「祝福」に記載した文言を用いる)</p> <p>25. 派遣のことば (上記の聖餐を伴う礼拝の「派遣のことば」に記載した文言を用いる)</p> |
|--|

主のエルサレム入城

2020・1・17 版
共同式文検討委員会

(「主の受難」の主日礼拝の始めに＝前奏に引き続きこの典礼を行う。この日は式文の「招き」はこの典礼に替える。)

御名による祝福

司式：父と子と聖霊のみ名によって

会衆：アーメン

はじめに

司式：私たちの救い主が来られます。主の名によって来られる方、王に、祝福があるように。

会衆：天には平和、いと高きところには栄光。

司式：これは、主のみわざ。

会衆：わたしたちの目には驚くべきこと。

特別の祈り

司式：(祈りましょう。) 憐れみ深い神様、あなたは御子、主イエス・キリストをこの世界に遣わし、御子は、福音を告げ知らせ、十字架の苦しみと死によって私たちの救いを実現するため、エルサレムに入られました。私たちが罪を悔い改め、私たちの心に救い主を迎えることができますように。そして、主の受難を心に刻み、復活の祝いに至らせてください。あなたと聖霊とともにただ独りの神、永遠の支配者、御子、主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

主のエルサレム入城のみことば

司式：主のエルサレム入城を告げるみことばを聴きましょう。

(A年 マタイ21章1～11、B年 マルコ11章1～11、C年 ルカ19章28～40)

結び

司式：主の名によって来られる方、王に、祝福があるように。

会衆：天には平和、いと高きところには栄光。

司式：主の平和のうちに進みましょう。

会衆：いと高きところにホサナ

つどいの歌

*一同は、賛美歌の前までの典礼を礼拝堂の入り口で行い、賛美歌を歌いながら入堂してもよい。あるいは、司式者はここまで礼拝堂の入り口で司式をして、賛美歌を歌いながら入堂してもよい。

*賛美歌を歌いながら、(棕櫚・フェニックス・ロベ・ソテツなど、あるいは地域の特色ある植物の) 枝を振ってもよい。なお、この日の礼拝で用いた枝は、翌年の灰の水曜日の前に燃やして、その礼拝で用いることができる。

つどいの祈り

司式：(祈りましょう。) *ここで「主の受難」の主日のためのつどいの祈りを行う。

会衆：アーメン

(以下、式文の「みことば」に進む。)

招き

招き

司式：神は、すべての人が救いの恵みに与るように、礼拝に招いてくださいました。

会衆：私たちは招かれて、ここにいます。

司式：父と子と聖霊の御名によって。

会衆：アーメン

告白

司式：神の御前で私たちの罪を告白し、心を合わせて赦しを求めましょう。

一同：神さま。

私たちは思いと言葉、行いと怠り、また無関心によって、あなたから遠く離れ、御旨に背いてきました。
今、ここに罪を告白します。

(黙祷)

赦し

司式：恵みの神様。

会衆：私たちを赦してください。

司式：神は、御子イエス・キリストの十字架によって私たちを赦し、洗礼の約束により新たに生まれさせ、永遠の命へと導いてくださいます。

父と子と聖霊の御名によって。

会衆：アーメン

つどいの歌

つどいの祈り

司式：祈りましょう。

愛の源、聖なる神様。裏切りの夜、主イエスは新しい掟（おきて）を授け、私たちが互いに愛し合うように教えられました。私たちの心にこれを刻み込み、しもべとなった主に倣い、他者に仕える心をお与えください。あなたと聖霊とともにただ独りの神、永遠の支配者、御子、主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

みことば

司式：み言葉を聞きましょう。

第一の朗読

朗読者：本日の第一の朗読は、「出エジプト記」12章1節～4節（&5節～10節）&11節～14節
朗読

朗読者：第一の朗読を終わります。

応答唱 詩編 116編 1節～2節&12節～19節

第二の朗読

朗読者：本日の第二の朗読は、「コリントの信徒への手紙Ⅰ」11章23節～26節
朗読

朗読者：第二の朗読を終わります。

詠唱

福音書の朗読

朗読者：本日の福音は、「ヨハネ福音書」13章1節～17節&31節b～35節

会衆：栄光は主に。

朗読

朗読者：福音書の朗読を終わります。

会衆：賛美はキリストに。

説教

みことばの歌

洗足

司式：主が弟子の足を洗われたように、私たちがまた互いに足を洗い合い、主の愛に応え、互いに愛し合いましょう。

*互いに足を洗い合う間、相応しい讃美歌を歌っても良い。

*「あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。(ヨハネ福音書 13:34)」と唱えながら行っても良い。

*洗足は任意であり、各教会の状況に合わせて、工夫をして良い。

教会の祈り

司式：祈りましょう。

・・・・・・・・キリストのみ名により。

会衆：「主よ、聞いてください」または「主よ、憐れんでください」で応答する。

結びの祈り

司式：恵みの神様。あなたの憐みに信頼し、私たちのすべての祈りを委ねます。私たちの救い主、イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

平和の挨拶

司式：主の平和がみなさんと共にありますように。

会衆：またあなたと共に。

司式：互いに平和の挨拶を交わしましょう。

*「主の平和」と言いながら挨拶を交わしても良い。

聖餐

聖餐の歌

序詞

司式：主が共に、おられるように。

会衆：また、あなたとともに。

司式：心を高くあげて主を仰ぎましょう。

会衆：主を仰ぎます。

司式：主に感謝しましょう。

会衆：感謝と賛美をささげます。

その日の序詞

司式：聖なる主 全能の父 永遠の神様。いつでもどこでも、あなたに感謝するのは、正しい務めであり、また私たちの喜びです。主イエス・キリストは、弟子たちの足を洗い、愛の模範を示し、私たちのために聖なる晩餐を定められました。私たちは、主の食卓につき、キリストと一つにされ、互いに愛し、仕えて生きる、新しいいのちに招かれています。今、地上のすべての教会は、あなたの御名をあがめ、永遠の賛美を天の御使いと聖徒たちと共に、声を合わせて歌います。

感謝の賛歌（サンクトゥス）

一同：聖なる、聖なる、聖なる力の主。

天と地に、主の栄光は満ちています。

いと高きところにホサナ。

主の御名によって来られる方に、祝福があるように。
いと高きところにホサナ。

設定

司式：聖なる神、全能の憐れみ深い神様。あなたの憐れみは限りなく、あなたの支配はとこしえに続きます。あなたはすべての被造物に 光といのちを満たされました。天地はあなたの栄光に満ちています。あなたはアブラハムによって すべての民の祝福を約束され、預言者たちによってその約束を新たにされました。そして、世の終わりに臨んで、御子イエス・キリストを遣わされました。キリストはことばと行動をもって、あなたのみ国を宣べ伝え、命を捨てるまで、あなたのみ旨に従われました。私たちの主イエス・キリストは渡される夜、パンを取り、感謝し、これを裂き、弟子たちに与えて言われました。「取って食べなさい。これはあなたがたのために与えるわたしのからだである。わたしの記念のため、これを行いなさい」。食事ののち、杯をも同じようにして言われました。「取って飲みなさい。これは罪の赦しのため、あなたがたと多くの人々のために流す私の血による新しい契約である。わたしの記念のため、これを行いなさい。」主が来られるその時まで、このパンを食べるごとに、この盃から飲むたびに、私たちは主の死を告げ知らせます。

会衆：キリストは死なれました。キリストは復活して今もおられます。キリストは再び来てくださいます。

司式：このパンとぶどう酒をもって 私たちのためにささげられた主の命を私たちは記念します。主の復活の証を信じ、主が再び来てくださり、大いなる約束の祝宴を私たちと共にして下さる日を待ち望みます。

会衆：アーメン。主よ、来てください。

司式：今、あなたの聖霊を復活の主の聖霊を送ってください。主のからだと血とを受ける私たちが、あなたの栄光を讃美し、すべての聖徒たちと共にみ国を受け継ぐことができるようにしてください。

会衆：アーメン。聖霊よ、来てください。

司式：私たちの祈りを、あらゆる場所、すべての時代のあなたの僕の祈りに合わせ、すべてのものの勝利者として来られる私たちの大祭司の絶えることのない願いと一つにしてください。

すべての栄光と賛美が、教会において、キリストにより、聖霊と共におられるあなたに、世々限りなくありますように。

会衆：アーメン

主の祈り

一同：天におられるわたしたちの父よ、
み名が聖とされますように。
み国が来ますように。
みこころが天に行われるとおりに 地にも行われますように。
わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。
わたしたちの罪をおゆるしください。
わたしたちも人をゆるします。
わたしたちを誘惑に陥らせず、悪からお救いください。
国と力と栄光は、永遠にあなたのものです。
アーメン

(ローマ・カトリック教会／日本聖公会 共通口語訳、2000年)

神の小羊 (アグヌスデイ)

一同：世の罪を取り除く神の小羊 憐れんでください。
世の罪を取り除く神の小羊 憐れんでください。
世の罪を取り除く神の小羊 平和をお与えください。 アーメン

聖餐への招きと配餐

司式：洗礼の礼典にあずかったかたは、聖卓にお進みください。

司式：キリストの体です。 司式：キリストの血です。

会衆：アーメン 会衆：アーメン

配餐後の祝福

司式：私たちの主イエス・キリストのからだと血とは、信仰によって、あなたがたを強め、守り、永遠のいのちに至らせてくださいます。

会衆：アーメン

聖餐の感謝

司式：主イエス様。あなたはこの聖なる礼典（サクラメント）において、十字架の苦しみ、死、そして復活による救いの力を、私たちにお与えくださいます。ここで与るあなたの体と血によって、私たちが日々、あなたの救いの実を豊かに結ぶことができますように。父と聖霊とともに、あなたは永遠に唯一の主です。

会衆：アーメン

*聖餐の感謝の祈り後、聖卓上の全てもの、聖餐容器、聖卓・典礼布（朗読・説教台もまた）、ろうそく他を取り除く。その間、会衆は着席。終了後、詩編を朗読、または歌っても良い。

詩編：22編または88編

司式：聖木曜日の礼拝を終わります。

*会堂入り口に献金籠を用意し、退場の際、自由に献金を捧げても良い。

聖金曜日

2020・1・17版
共同式文検討委員会

つどいの祈り

*賛美歌は適宜、用いて良い。

司式：祈りましょう。

全能の神様。あなたの家族である私たちのために主イエス・キリストは裏切りを受け入れ、罪人の手に渡され、十字架で苦しみ、死に至りました。あなたと聖霊とともにただ独りの神、永遠の支配者、御子、主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

聖書朗読

司式：みことばを聞きましょう。

第一の朗読

朗読者：本日の第一の朗読は、イザヤ書 52 章 13 節～53 章 12 節

朗読

朗読者：第一の朗読を終わります。

応答唱 詩編 2 2 編

第二の朗読

朗読者：本日の第二の朗読は、ヘブライ人への手紙 10 章 16 節～25 節

または 4 章 14 節～16 節&5 章 7～9 節

朗読

朗読者：第二の朗読を終わります。

詠 唱

福音書の朗読

朗読者：福音書の日課は「ヨハネ福音書」18 章 1 節～19 章 42 節

会衆：栄光は主に。

朗読

朗読者：福音書の朗読を終わります。

会衆：賛美はキリストに。

説教

みことばの歌

教会の祈り

*各項目の終わりを、「キリストのみ名により」で結ぶ。会衆は「主よ、聞いてください」または「主よ、憐れんでください。」で応答する。

司式：神が御子をこの世にお遣わしになったのは、この世を罪に定めるためではなく、御子によってこの世を救うためでした。心を合わせ、祈りましょう。

*連祷は以下のような項目を祈っても良い。

「世界の教会のため」「教会の奉仕者のため」「洗礼志願者のため」

「キリスト者の一致のため」「福音を信じない人のため」

「世界の国々とその指導者のため」「平和のため」「すべての被造物のため」

「苦難を負う人のため」「各々の教会の課題や必要のため」

司式：御子イエス・キリストの死と復活によって人類を贖い、救われた憐れみ深い神様。

十字架の上で苦しみを受けられた御子への信仰によって、私たちが主の勝利に与らせてください。主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

主の祈り

一同：天におられるわたしたちの父よ、

み名が聖とされますように。

み国が来ますように。

みこころが天に行われるとおりに地にも行われますように。

わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。

わたしたちの罪をおゆるしてください。

わたしたちも人をゆるします。

わたしたちを誘惑に陥らせず、悪からお救いください。

国と力と栄光は、永遠にあなたのものです。

アーメン

(ローマ・カトリック教会／日本聖公会 共通口語訳、2000年)

十字架—黙想と賛美

*十字架を想起するため、奉仕者は木製の十字架を高く掲げ、会堂入口から聖卓まで進む。

その間、奉仕者と会衆は以下の言葉を交唱する。

十字架

補佐：見よ、命を与える十字架。世界の救い。

会衆：来て、主を礼拝しよう。

補佐：見よ、命を与える十字架。世界の救い。

会衆：来て、主を礼拝しよう。

補佐：見よ、命を与える十字架。世界の救い。

会衆：来て、主を礼拝しよう。

*十字架を覚え、黙祷する。

結びの言葉

司式：主よ、私たちはあなたを崇めます。そしてあなたを讃美します。

会衆：聖なる十字架によって、あなたは世界を救われました。

司式：これで聖金曜日の礼拝を終わります。

沈黙の内に退場してください。

*会堂入り口に献金籠を用意し、退場の際、自由に献金を捧げても良い。

*教会の祈りに、以下の祈りを用いても良い。

聖金曜日のとりなしの祈り

司式：御子イエス・キリスト、あなたは十字架によって私たちの咎を負ってくださいました。それは、私たちを自由にするためです。あなたの死は不当なものであるにもかかわらず、あなたは「父よ、彼らをお赦してください。自分が何をしているのかわからないのです」と祈られました。あなたは私たちに咎を負わせることなく、赦しと新しいのちをお与えくださいます。キリストの御名により。

会衆：主よ、憐れんでください。

司式：あなたの死によって私たちは希望を失ったにもかかわらず、あなたは「はっきり言っておくが、あなたは今日わたしと一緒に樂園にいる」と告げられました。あなたは死を超えて私たちに希望をお与えくださいます。もはや私たちは絶望しません。キリストの御名により。

会衆：主よ、憐れんでください。

司式：あなたの死は深い孤独でした。あなたは「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」と叫ばれました。しかし、命は勝利して死を飲み込みました。それゆえ、私たちは全ての落胆したものたちのために祈り、あなたを呼びます。キリストの御名により。

会衆：主よ、憐れんでください。

司式：あなたの死は空虚ではありません。あなたは「父よ、わたしの霊を御手にゆだねます」と祈られました。あなたによって死は終わり、神と世界から切り離され、飢え渴く全てのものにあなたの命の水をお与えくださいます。キリストの御名により。

会衆：主よ、憐れんでください。

司式：あなたは「成し遂げられた」と語り、息を引きとられました。あなたの死は、罪を赦しに、絶望を希望に、死を命に変え、そして飢え渴く心に命の水をお与えくださいます。十字架の上で苦しみを受けられた御子への信仰によって、私たちを主の勝利に与らせてください。主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

Ⅰ. 「招き」(準備・予告の言葉)

*会堂入口、または戸外で行う

声1：死の暗闇から新しい創造の朝を待ち望むこの夜、私たちは、まず、初めに天地創造を思い起こします。神は、人をご自身に似せてお造りになりましたが、私たちは神に背き、被造物を脅かし、滅ぶべき者となりました。しかし、神は、御独り子を死に渡した後、この聖なる夜、主イエス・キリストの復活によって、罪の赦しと新しいいのちの約束を私たちに示されました。

声2：この聖なる夜、主イエス・キリストは死からいのちへと過ぎ越されました。神の計り知れない恵みによって示された「みことばと洗礼と聖餐」によって、私たちも新しい「主の過越し」を記念します。主と共に死に打ち勝ち、永遠のいのちの勝利にあずかりましょう。

*復活のろうそくの点灯をしない場合は省く

「復活ろうそくの点灯」

*復活のろうそくを用いない場合は、新しい「聖壇のろうそく」を準備してもよい

1. ろうそくの入堂

*復活のろうそくを持って入堂し、所定の位置に設置する

司式：あなたは、この夜を聖なるものとし、まことの光で照らしてください。あなたの愛の炎を私たちに灯し、世界にああなたの輝きをもたらす者になしてください。

会衆：み子を光として、この世に送られた神さま。新しい火を祝福してください。この火によって、私たちが永遠の命の希望の光の中を歩むことができますように。

2. ろうそくの点灯

司式：キリストは昨日と今日、初めと終り、アルファとオメガ。すべてはキリストのもの。栄光が代々限りなくキリストにありますように。(復活のろうそくの場合は、香粒のしるしを入れる)

*ろうそくを点灯しながら言う

復活の主キリストの光が、私たちの死の闇を追い払ってくださるように。

会衆：アーメン

*「キリストの光」と唱え、ろうそくの火をかかげ会衆に示す。続けて会衆各自のろうそくに点灯してもよい

司式：キリストは私たちの光(または、世の光)

会衆：神を賛美します(または神に感謝)

3. 讚美歌を歌ってもよい・または聖歌隊の賛美がなされてもよい

集いの祈り

司式：祈りましょう

*RCLの当該の祈り、または他の相応しい祈りを用いてもよい

会衆：アーメン

II. 「みことば」(RCL日課による朗読がなされる) *朗読1, 3, 4, 5, 7は省かない

朗読1. 創世記1:1~2:4a (「天地創造」)

*応答句として「詩編136:1~9, 23~26」か「祈り」のいずれかを用いる

司式: 祈りましょう

全能の神様。あなたは驚くべきみ業により、私たちをあなたに似せて造り、さらに驚くべきみ業により、キリストによって贖ってくださいました。み子が私たちと同じ人間となられたように、私たちをキリストの新しい命に生きる者としてください。主イエス・キリストによって。

会衆: アーメン

朗読2. 創世記7:1~5, 11~18, 8:6~18, 9:8~13 (洪水と救い)

*応答句として「詩編46」か「祈り」のいずれかを用いる

司式: 祈りましょう

慈しみ深い神様。あなたは虹を雲の中に置き、すべての生けるものとあなたとの契約のしるしとしてくださいました。水と霊によって新しい命に生かされる私たちも、あなたの契約の民として、この世に証を立てることができるように導いてください。主イエス・キリストによって。

会衆: アーメン

朗読3. 創世記22:1~18 (犠牲)

*応答句として「詩編16」か「祈り」のいずれかを用いる

司式: 祈りましょう

独り子の父である神様。あなたは、み子をさえ惜しまず、私たちの罪の贖いの小羊としてお与えになりました。イエス・キリストの尊い犠牲の死により、私たちを罪の縄目から解放し、み国の平安に生きる者にしてください。主イエス・キリストによって。

会衆: アーメン

朗読4. 出エジプト14:10~31, 15:20~21 (葦の海を渡る)

*応答句として「出エジ15:1b~13, 17~18」か「祈り」のいずれかを用いる

司式: 祈りましょう

私たちの贖い主である神様。あなたは民の叫びを聞き、モーセを遣わして奴隷の家から、選ばれた民を、葦の海の水を通ることで解放してくださいました。洗礼の水を通して、罪と死の縄目から私たちを解放し、聖霊によって私たちを自由へと導いてください。主イエス・キリストによって。

会衆: アーメン

朗読5. イザヤ55:1~11 (無償の救い)

*応答句として「イザヤ12:2~6」か「祈り」のいずれかを用いる

司式: 祈りましょう

主なる神様。あなたの口からでる言葉は、あなたの望むことを成し遂げ、その使命を必ず果たします。あなたに信頼する者は幸いです。私たちに渴くことのない命の水を与え、復活の命に与かる者としてください。主イエス・キリストによって。

会衆: アーメン

朗読6. 箴言8:1~8, 19~21, 9:4b~6 (真の知恵)

*応答句として「詩編19」か「祈り」のいずれかを用いる

司式: 祈りましょう

真の知恵の源である神様。あなたは、私たちにいつも語りかけてくださいます。私たちが、この世の言葉に惑わされることなく、ただあなたのみ声を聞き、あなたの真理を悟ることができるように、真の知

恵をお与えください。主イエス・キリストによって。

会衆：アーメン

朗読 7. エゼキエル 36 : 24 ~ 28 (新しい霊)

*応答句として「詩編 42, 43」か「祈り」のいずれかを用いる

司式：祈りましょう

光と聖さの源である神様。あなたは洗礼の水で私たちを清め、私たちに新しい心、新しい霊を与えてくださいました。新しい和解の契約によって、あなたの救いの恵みを宣べ伝え、全世界に証しすることができるようにしてください。主イエス・キリストによって。

会衆：アーメン

朗読 8. エゼキエル 37 : 1 ~ 14 (霊による復活)

*応答句として「詩編 143」か「祈り」のいずれかを用いる

司式：祈りましょう

永遠の神さま。すべての教会を顧み、救いの計画を進めてください。あなたの聖霊の息吹で、倒れた人を起こし、古いものを新たにし、枯れはてた人々の思いを豊かに潤し、キリストによってすべてが一つとなるように力をお与えください。主イエス・キリストによって。

会衆：アーメン

朗読 9. ゼファニヤ 3 : 14 ~ 20 (回復の喜び)

*応答句として「詩編 98」か「祈り」のいずれかを用いる

司式：祈りましょう

すべての喜びの源である神さま。闇と苦しみの中から私たちを解放してください。終りの日に、あなたの栄光を仰ぎ、み国にある永遠の祝福を受け継ぐ喜びで満たしてください。主イエス・キリストによって。

会衆：アーメン

使徒書の朗読 ローマ 6 : 3 ~ 11

*応答句として「詩編 114」か「グロリア」、または「ハレルヤ唱」を用いてもよい

復活の朗読 (*その年の福音書該当箇所を用いる)

司式：主が共におられるように

会衆：また、あなたと共に

司式：福音書記者○○ (*その年の書名) は、キリストの復活をこう告げている。

会衆：栄光は主に。

(*福音書の朗読)

会衆：賛美はキリストに。

司式：ハレルヤ。キリストは復活されました。

会衆：主は本当に復活されました。ハレルヤ。

説教

賛美歌

III. 「洗礼の感謝」

司式：恵み深い天の父は、新しい「主の過越し」によって、罪の赦しと新しい命を示されました。私たちは、水の礼典・洗礼によって主イエス・キリストの死と復活に結ばれ、神の子として新しく生まれ、

永遠の命を受け継ぎます。水と霊とによって新しくされていることを思い起こし、感謝することは正しい務めです。

感謝の祈り

*以下のいずれか、あるいは相応しい祈りがなされてもよい

司式：聖なる神、大いなる主、恵み深い父。私たちは、すべての始まりに、あなたの息である霊が水の上を動き、あなたが天と地とを造られたことを感謝いたします。あなたは水を私たちにお与えになり、私たちとすべての生けるものを養い支えてくださいます。箱舟によって、あなたが選ばれたノアとその家族を救われ、再び人間を滅ぼさないと約束されました。あなたは、雲と火の柱によってイスラエルの民を海の中で導き守り、奴隷の状態から、約束の地における自由の状態へと導いてくださいました。ヨルダン川で、み子イエスはヨハネによって洗礼を受けられ、聖霊を受けられました。あなたの愛するみ子は、ご自身の死と復活の洗礼によって、私たちを罪と死の滅びから解放し、喜びと終ることのないいのちにおける自由への道を開いてくださいました。み子は水を、神の国の支配、清め、再生のしるしとされました。私たちは、主の戒めに従って、すべての人々を弟子とし、父と子と聖霊のみ名によって洗礼を受けます。聖霊の力によって、私たちをあらゆる罪から清め、私たちに新しいいのちを与え、私たちが日ごとに、私たちの洗礼の恵みを経験できるように導いてください。

会衆：アーメン

*または、以下の祈りに代えてもよい

司式：洗礼によって救いを与えられる全能の神様。あなたのもとに集う民を顧みてください。あなたは水を造り、大地を潤して豊かに実らせ、人の命を養ってくださいました。

会衆：天地の初めに、あなたの霊は水の面を覆い、人を聖とする力を水にお与えになりました。

司式：ノアの洪水の時、水をあふれさせ、罪の終りと新しい命の始まりである洗礼を顕してくださいました。

会衆：あなたは、水によって力と慈しみを示してくださいました。

司式：主の民がエジプトを出た時、海の中に道を備えて約束の地に導き、奴隷から解放して、洗礼を受ける人のしるしとしてくださいました。

会衆：イスラエルの民は海を渡って解放され、砂漠で渇きを癒され、預言者は、新しい契約を水の働きによって教えました。

司式：あなたのひとり子は、ヨルダン川でヨハネから洗礼の水を注がれて、聖霊を受けられました。

会衆：主イエスは、ヨルダン川で水を清められ、私たちの模範とされました。

司式：十字架の上では、貫かれた脇腹から血と水を流し、復活の後、弟子に命じられました。「すべての国に行って人々に教え、父と子と聖霊のみ名によって洗礼を受けなさい」。

会衆：あなたは水を洗礼の礼典に用いて、死に定められた人間を新しい命に導いてくださいました。

司式：命の主よ、水による洗礼を祝福してください。あなたに呼ばれて洗礼を受けたものが、永遠の命に生きるものとなりますように。

会衆：アーメン

*洗礼がある場合は、ここで「洗礼式」を行う

(洗礼に続いて) 使徒信条を全員で唱える

***洗礼式がない場合は以下を用いる**

司式：主イエスが死から復活されたこの日、この過越の出来事によって、私たちもキリストと共に死に、キリストと共に新しい命へと復活しました。四旬節の終わりにあたり、私たちも洗礼の時にした約束を新たにし、キリストに従う信仰を改めて約束し、告白しましょう。

司式：あなたがたは、悪魔とその力と、その空しい約束を退けますか。

会衆：はい、退けます。

司式：全能の父なる神を、あなたがたは信じますか。

会衆：はい、信じます。

司式：父のひとり子、私たちの主イエス・キリストを、あなたがたは信じますか。

会衆：はい、信じます。

司式：聖霊を信じますか。また、聖なる教会、聖徒の交わり、罪の赦し、からだの復活、永遠の命を信じますか。

会衆：はい、信じます。

司式：あなたがたは、この信仰のもとに、キリストのからだに連なる者となり、み言葉の教えを守り、恵みの手段を尊び、生涯を送りますか。

会衆：はい、神の助けによって約束します。

司式：主イエス・キリストの父、全能の神は、水と洗礼によって私たちに新しい生命を与え、すべての罪を赦してくださいました。神の恵みによって、私たちがいつまでも主イエス・キリストにとどまることができるようになります。

会衆：アーメン

*これに替えて、全員で「使徒信条」を唱えてもよい

*「共同の告白」「使徒信条」の際に、洗礼を想起するために「水のしるし（灌水）」を用いてもよい

教会の祈り

平和の挨拶

IV. 「聖餐」（*前後に賛美歌を歌ってもよい）

*礼拝式文「聖餐」を用いる

V. 「派遣」

感謝のささげもの（献金）

派遣の祈り *他の祈りを用いてもよい

司式：世界の造り主、全能の神様。イエス・キリストにより、私たちを一つの体として結び合わせてくださり感謝いたします。私たちを希望と忍耐と勇気で満たし、隣人を愛することができるようにしてください。今捧げられたものがあなたを証し、世界の人々に届けられますように。痛み悲しむ人々の隣人として、私たちを聖霊によって送り出してください。主イエス・キリストの御名によって祈ります。

会衆：アーメン

派遣と祝福 *他の祝祷に代えてもよい

司式：私たちは招かれています。

会衆：復活の主、キリスト・イエスの弟子として。

司式：死と復活を通して、新しい生き方を示されたキリストの恵み、新しいいのちを創造される神の愛、新しい力で満たされる聖霊の交わりが、みなさんと共にありますように（---あります）。

一同：アーメン

司式) 行きましょう、主の平和のうちに。仕えましょう、主と隣人に。

一同) 私たちは分かち合います、恵みを。伝えます、福音を。

***退堂・散会**

- ① この「主の復活の夜」礼拝（復活徹夜祭＝イースターヴィジル）は、土曜日の日没後以降、深夜から未明、早朝に行なうことが望ましい。また、近隣の教会と合同で行ってもよい。
- ② 「招き」は、礼拝堂の外、入り口で行なってもよい。照明、復活のろうそく等の用意と配慮をする。
- ③ 聖書テキストはRCLの日課を用いる。その他相応しいものが選ばれてもよい。
- ④ 「洗礼式」「聖餐式」は、通常の「式文」の該当箇所、または相応しいものを用いる。
- ⑤ 指定がある箇所以外でも、相応しい賛美歌が歌われても、賛美がなされてもよい。
- ⑥ 「復活のろうそく」が無い場合も、聖卓に新しいろうそくを用意するのが望ましい。また、会衆にも各自のろうそくが用意されてもよい。

臨終の祈り

2020・1・17 版
共同式文検討委員会

1. はじめのことば

主の平安がありますように。
(アーメン)

2. 詩編唱 *司式者は次の詩編を唱えてもよい。または交読するか、会衆が復唱することもできる。

主よ、わたしの心は驕っていません。わたしの目は高くを見ていません。
大きすぎることを、わたしの及ばぬ驚くべきことを、追い求めません。
わたしは魂を沈黙させます。
わたしの魂を幼な子のように、母の胸にいる幼な子のようにします。(詩編131より)
父と子と聖霊の神に栄光があるように。
はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン
または
わたしの魂は沈黙して、ただ神に向かう。
神にわたしの救いはある。
主こそ、わたしの岩、わたしの救い、堅固な砦。
わたしは決して動揺しない。
わたしの魂よ、沈黙して、ただ神に向かえ。
神にのみ、わたしは希望をおいている。
主こそ、わたしの岩、わたしの救い、堅固な砦。
わたしは決して動揺しない。
わたしの救いと栄えは神にかかっている。
力と頼み、避けどころとする岩は神のもとにある。(詩編62より)
(父と子と聖霊の神に栄光があるように。
はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン)

3. 聖書

(十字架につけられていた一人は言った。)
「イエスよ、あなたが御国においでになるときには、わたしを思い出してください」。するとイエスは、「はっきり言うておくが、あなたは今日わたしと一緒に樂園にいる」と言われた。(ルカ23章42～43節)

または

(イエスは言われた。)
「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。」(ヨハネ11章25)

4. 祈り

(逝去前の場合、以下の祈りを用いる。逝去後の場合は、別記の祈りを用いる。)

慈しみ深い神様。私たちの愛する_____が、今、御許に召されようとしています。この神の家族(兄弟・姉妹)を御手に委ねます。主イエス・キリストの義の衣をもって_____を覆い、罪を赦された者として、御許にお迎えください。救い主イエス・キリストによって祈ります。

アーメン

(幼子の場合)

全能の神様。私たちの愛する_____が、今、御許に召されようとしています。この幼子を御手に委ねます。幼子を愛する主よ、あなたの御腕にお迎えください。救い主イエス・キリストによって祈ります。

アーメン

(不慮の事故の場合)

憐れみ深い神様。不慮の事故により、私たちの愛する_____が、今、御許に召されようとしています。この神の家族（兄弟／姉妹）を御手に委ねます。主イエス・キリストの義の衣をもって_____を覆い、あなたの平安と慰めで満たし、御許にお迎えください。救い主イエス・キリストによって祈ります。

アーメン

(洗礼を受ける機会を得ることがなかった場合)

いのちの造り主である神様。あなたの憐れみは限りなく、その慈しみはすべての人に注がれます。今、この世の旅路を終えようとしている_____を御手に委ねます。あなたの慰めと愛の力から来る平安を私たちに与えてください。救い主イエス・キリストによって祈ります。

アーメン

*逝去後に、この式文を使って臨終の祈りを行う場合は、以下の祈りから選んで用いる。

慈しみ深い神様。御許に召された、愛する_____をあなたの御手に委ねます。主イエス・キリストの義の衣をもって神の家族（兄弟／姉妹）を覆い、罪を赦された者として、御許にお迎えください。救い主イエス・キリストによって祈ります。

アーメン

(幼子の場合)

全能の神様。御許に召された、私たちの愛する_____をあなたの御手に委ねます。幼子を愛する主よ、あなたの御腕にお迎えください。救い主イエス・キリストによって祈ります。

アーメン

(不慮の事故の場合)

憐れみ深い神様。不慮の事故により御許に召された、愛する_____を、あなたの御手に委ねます。主イエス・キリストの義をもって神の家族・兄弟／姉妹を覆い、あなたの平安と慰めで満たし、御許にお迎えください。救い主イエス・キリストによって祈ります。

アーメン

(洗礼を受ける機会を得ることがなかった場合)

いのちの造り主である神様。あなたの憐れみは限りなく、その慈しみはすべての人に注がれます。この世の旅路を終えた_____を御手に委ねます。あなたの慰めと愛の力から来る平安を私たちに与えてください。救い主イエス・キリストによって祈ります。

アーメン

5. 主の祈り *ここで一同で主の祈りを祈ってもよい。

6. 結びのことば *司式者は臨終の者の頭に手を置いて言う。

「今から後、主に結ばれて死ぬ人は幸いである」

アーメン

または

主イエスは言われた。「あなたは今日わたしと一緒に樂園にいる」

アーメン

納棺の祈り

2020・1・17 版
共同式文検討委員会

1. 賛美歌

2. 詩編唱 *司式者は次の詩編を唱え、または会衆と交読する

ひとつのことを主に願い、それだけを求めよう。

命ある限り、主の家に宿り、

主を仰ぎ望んで喜びを得、

その宮で、朝を迎えることを。(詩編27編より)

(父と子と聖霊の神に栄光があるように。

はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン)

または

憐れんでください。神よ、憐れんでください。

わたしの魂はあなたを避けどころとし、災いの過ぎ去るまであなたの翼の陰を避けどころとします。

いと高き神を呼びます。わたしのために何事も成し遂げてくださる神を。

天から遣わしてください、神よ、遣わしてください、慈しみとまこととを。

わたしを踏みにじる者の嘲りから

わたしを救ってください。

(父と子と聖霊の神に栄光があるように。

はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン)

3. 祈り

全能の神様。わたしたちは今、愛する者の亡きがらをひつぎに納めるため、ここに集まっています。

→A あなたの計りがたい慈しみによって、愛する者は、洗礼の約束によって、あなたの御許に迎えられました。

または

→B あなたの計りがたい慈しみによって、愛する者は、この世に生を与えられ、わたしたちのうちにあり、あなたに支えられて共に生きてきました。

(上のABいずれかに続き) 今、地上の歩みを終えた神の家族(兄弟/姉妹)・幼子_____と別れるにあたり、これまでにお与えくださった恵みの数々を思い、感謝いたします。御許において再び顔と顔を合わせる日の来る希望を与えてください。悲しみの中にある私たちを、御言葉をもって励まし、これよりおこなわれるすべてのことを通して、主の栄光が現れますように。いのちの主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

*ここで納棺をしてもよい。あるいは地域の慣習に基づいて行う。

納棺後の祈り *納棺した後に以下の祈りをする。

主なる神様。あなたの愛の御手に委ね、今、愛する_____を納棺いたしました。これから行われるすべての式をあなたの慰めと平安で満たしてください。主イエス・キリストによって。

アーメン

4. 祝福

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりがあなたがた一同と共にあるように。

アーメン

葬送前夜式 (通夜の祈り)

2020・1・17 版
共同式文検討委員会

*式は、自宅・教会・その他で行う。

*式の中で、あるいはその後で、逝去者を偲び、友人・関係者・遺族による思い出が語られてもよい。

1. 賛美歌 *歌っても唱和してもよい

2. 詩編唱 *司式者は次の詩編を唱える。または交読することもできる。

主はわたしの光、わたしの救い。わたしは誰を恐れよう。

主はわたしの命の砦。わたしは誰を恐れよう。

ひとつのことを主に願い、それだけを求めよう。

命ある限り、主の家に宿り、主を仰ぎ望んで喜びを得、その宮で、朝を迎えることを。

災いの日には必ず、主はわたしを仮庵にひそませ、幕屋の奥深くに隠してくださる。

岩の上に立たせ、群がる敵の上に頭を高く上げさせてくださる。

わたしは主の幕屋でいけにえをささげ、

歓声をあげ、主に向かって讃美の歌をうたう。

主よ、叫び求めるわたしの声を聞き、

憐れんで、わたしに答えてください。

主よ、み顔を隠すことなく、怒ることなく、あなたの僕を退けないでください。

あなたはわたしの助け。(詩編27編より)

(父と子と聖霊の神に栄光があるように。

はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン)

または

目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。

わたしの助けはどこから来るのか。

わたしの助けは主から来る。

天地を造られた主のもとから来る。

主があなたを助けて、足をよろめかないようにし、

まどろむことなく見守ってくださる。

見よ、主の民を見守る方は、

まどろむことなく、眠ることもない。

主はあなたを見守る方、

あなたを覆う陰、あなたの右にいます方

昼、太陽はあなたを撃つことがなく、

夜、月もあなたを撃つことがない。

主がすべての災いを遠ざけて、

あなたを見守り、あなたの魂を見守ってくださる。

あなたの出で立つのも帰るのも、主が見守ってくださるように。

今も、そしてとこしえに。(詩編121編より)

(父と子と聖霊の神に栄光があるように。

はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン)

3. 特別の祈り

司式：いつくしみと慰めの主、全能の神様。この世の旅路を終えた_____をあなたのみ手に委ねます。み子による恵みの約束のうちに、召された者を慈しみもって受け入れ、永遠の光によって照らしてください。はかり知ることのできないあなたの愛によって、悲しみのうちにある私たちに慰めと平安を与えてください。あなたと聖霊と共にただひとりの神であり、死んで復活し永遠に生きて治められるみ子、主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

4. 聖書 * 次の聖書箇所、あるいは他の適切な箇所を朗読する。

コリント（二）5章1～10節・ヨハネ11章21～27節・ヨハネ14章1～6節

5. 説教

6. 賛美歌

7. 祈り

司式：すべての生命と力の源である神様。愛する神の家族（兄弟／姉妹）・幼子_____は、はかり知ることのできない恵みによって、あなたの救いに与る者とされました。信じる者の喜びに満たされて生き、与えられた人生の道のりを走り終えて、いま天にある聖なる人々の群れに加えられましたことを感謝いたします。召された者も、残された者も、常にあなたの交わりの中にあることを示し、なお地上にある私たちが、互いに慰め、励まし、神と共に生きる人生を歩むことができるように導いてください。十字架の死によって、死に打ち勝ち、今も生きて働いておられる、主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

（洗礼を受ける機会を得られず逝去した場合）

司式：すべての生命と力の源である神様。あなたに与えられた地上の生涯を終えた_____に、あなたが導き、私たちとの交わりを与えてくださったことを感謝します。あなたのはかり知ることのできない憐れみによって私たちに顧み、愛の御手に受け入れ、平安を与えてください。なお地上にある私たちが、互いに慰め、励まし、神と共に生きる人生を歩むことができるように導いてください。私たちの救い主、主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

8. 主の祈り

9. 賛美歌

10. 祝 福

司式：平安と慰めと愛が あなたがたにあるように、父と子と聖霊のみ名によって。

会衆：アーメン

葬送式
(葬儀礼拝)

2020・1・17 版
共同式文検討委員会

1. 賛美歌

2. 御名による祝福

父と子と聖霊のみ名によって。

アーメン

3. 詩編唱 *司式者は次の詩編を唱える。または交読することもできる。

深い淵から、主よ、あなたに叫びます。主よ、この声を聞き取ってください。

嘆き祈るわたしの声に耳を傾けてください。

主よ、あなたが罪をすべて心に留められるなら、

主よ、誰が耐ええましょう。

しかし、主よ、赦しはあなたのもとにあり、

人はあなたを畏れ敬うのです。

わたしは主に望みをおき、

わたしの魂は望みをおき、み言葉を待ち望みます。(詩編130編より)

(父と子と聖霊の神に栄光があるように。

はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン)

または

わたしは主を愛する。主は嘆き祈る声を聞き、

わたしに耳を傾けてくださる。生涯、わたしは主を呼ぼう。

死の綱がわたしにからみつき、陰府の恐怖にさらされ、苦しみと嘆きを前にして、

主のみ名をわたしは呼ぶ。「どうか主よ、わたしをお救いください。」

主は憐れみ深く、正義を行なわれる。わたしたちの神は情け深い。

哀れな人を守ってくださる主は、弱り果てたわたしを救ってくださる。

わたしの魂よ、再び安らうがよい、

主はお前に報いてくださる。

あなたはわたしの魂を死から、わたしの目を涙から、

わたしの足を突き落とそうとする者から、助け出してくださった。

命あるものの地にある限り、

わたしは主のみ前に歩み続けよう。

わたしは信じる。「激しい苦しみに襲われている」と言うときも、

不安がつのり、人は必ず欺くと思うときも。

主はわたしに報いてくださった。わたしはどのように答えようか。

救いの杯を上げて主のみ名を呼び、満願の献げ物を主にささげよう。主の民すべての見守る前で。

主の慈しみに生きる人の死は主の目に価高い。どうか主よ、わたしの縄目を解いてください。

わたしはあなたの僕。わたしはあなたの僕、母もあなたに仕える者。

あなたに感謝のいけにえをささげよう。主のみ名を呼び、主に満願の献げ物をささげよう。

主の民すべての見守る前で、主の家の庭で、エルサレムのただ中で。ハレルヤ。(詩編116より)

(父と子と聖霊の神に栄光があるように。

はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン)

4. キリエ

司式：主よ、憐れんでください。

会衆：主よ、憐れんでください。

司式：キリストよ、憐れんでください。

会衆：キリストよ、憐れんでください。

司式：主よ、憐れんでください。

会衆：主よ、憐れんでください。

5. 特別の祈り

司式：命の源である神様。地上の旅を信仰を持って終えた_____は、洗礼の約束によって、復活の命を与えられました。今、私たちも、この信仰と希望によって、慰めと平安の内に生きることができるようになってください。あなたと聖霊と共にただひとりの神であり、永遠の支配者、私たちの主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

または

司式：全能・永遠の神様。すべての命はあなたの御手の中にあります。苦しみ、悩みの中で、あなたを呼び求める私たちの祈りに耳を傾けてください。地上の旅を終えて、その労苦から解かれた_____と再び会う時まで、私たちが希望を持って生きることができるようになってください。あなたと聖霊と共にただひとりの神であり、永遠の支配者、私たちの主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

6. 聖書朗読（旧約聖書または使徒書、福音書）

* 次の聖書箇所、あるいは他の適切な箇所を朗読する。

* 2箇所以上朗読する場合で、福音の前に旧約聖書または使徒書を朗読する場合は、福音の朗読の前に7に進む。

ヨブ記19章25, 26節・イザヤ書25章8, 9節

ローマ8章31～39節・コリント（一）15章12～26節・コリント（一）15章50～58節・

テサロニケ（一）4章13～18節・ペトロ（一）1章3～9節・黙示録21章3～7節・

黙示録7章9～7節

ルカ7章11～17節・ヨハネ5章24～29節・ヨハネ6章37～40節・ヨハネ11章21～27節・

ヨハネ14章1～6節（小児）・マタイ9章18～26節（小児）・マルコ10章13～16節（小児）

* 個人の愛唱聖句が朗読されてもよい

7. 賛美唱 * 旧約聖書または使徒書を福音の前に朗読する際に、司式者は次の詩編を唱える。または交読することもできる。

主はわたしの羊飼い、

わたしには何も欠けることがない。

主はわたしを緑の野に休ませ、

憩いの水のほとりに伴い、わたしの魂を生き返らせてくださる。

主はみ名にふさわしく、わたしを正しい道に導かれる。

死の陰の谷を行くときも わたしは災いを恐れぬ。

あなたがわたしと共にいてくださる。

あなたの鞭、あなたの杖、それがわたしを力づける。

わたしを苦しめる者を前にしても、

あなたはわたしに食卓を整えてくださる。

わたしの頭に香油を注ぎ、
わたしの杯を溢れさせてくださる。
命ある限り、恵みと慈しみはいつもわたしを追う。
主の家にわたしは帰り、いつまでも、そこにとどまる。(詩編23編より)
(父と子と聖霊の神に栄光があるように。
はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン)

(8. 福音の朗読) * 6に加えて、ここで福音を朗読してもよい。朗読箇所は6を参照のこと。

9. 説教

10. 賛美歌または(聖餐を行わない場合)シメオンの賛歌

11. 祈り

① 司式: 生きている者と死んだ者の神様。天地のすべてのものはあなたによって創られました。私たちの生と死はあなたの御手のうちにあります。御子イエス・キリストは私たちの救いのために十字架につけられ、死んで復活し、私たちのために永遠のいのちをお与えくださいました。天に召された者と共に、私たちも今地上にあって、あなたに讃美をささげることができるようにしてください。

② 司式: 恵みの神さま 主にあって眠る者のために、嘆くことのないように、あなたは教えてくださいました。この世の生涯を終えたものを、憐れみによって、永遠の喜びに与らせてください。キリストのみ名によって。

③ 司式: いくつしみ深い神様。悲しむ者を慰め、心に痛手の受けている者を癒してください。私たちが必要とするとき、その心を平安で満たしてください。キリストのみ名によって。

④ (幼子のために)

司式: 幼子のみ手に抱き、祝福されたイエス様。幼くして天に召された_____が、あなたの愛のみ手のうちに、永遠のいのちを受けることができますように。この幼子を思う人々に慰めと平安をお与えください。

⑤ (洗礼を受ける機会がなく召された者のために)

司式: 全能の憐れみ深い神様。人の生死はすべてみ手のうちにあります。あなたは、愛する_____を私たちに与え、私たちの交わりのうちにあなたのみ業を現してくださったことを感謝します。はかり知れないあなたの深い憐れみのうちに_____を受け入れ、主の愛のみ旨を全うしてくださるようお願い致します。私たちの救い主、イエス・キリストのみ名によって。

(結びの祈り)

司式: 独り子イエス・キリストを与えられた神様。み子は死の力を砕き、復活によってみ国の門を開いてくださいました。死もいのちも、現在のものも、将来のものも、主イエス・キリストにあるあなたの愛から、私たちを引き離すことができないことを信じ、あなたの愛にすべてを委ねます。あなたと聖霊と共に、ただひとりの神であり、永遠に生きて治められるみ子、主イエス・キリストによって祈ります。

(聖餐を行う場合は、聖餐の式文に進む。聖餐式の式文に続き、祝福は葬送式式文の13を用いることもできる。)

12 主の祈り

13 祝福

司式：全能の神の慰めと祝福があなたがたと共にあるように。父と子と聖霊のみ名によって

会衆：アーメン

または

司式：主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりがあなたがたと共にあるように。

会衆：アーメン

または

司式：永遠の契約の血による羊の大牧者、わたしたちの主イエスを、死者の中から引き上げられた平和の神が、み心に適うことをイエス・キリストによってわたしたちにしてください、み心を行なうために、すべての良いものをあなたがたに備えてくださるように。栄光が世々限りなくキリストにありますように。

会衆：アーメン

14 賛美歌

#ここで葬送式を一応終わり、遺族挨拶、弔電・弔文披露を行ってもよい。

(15) お別れのしるし *ここで花を手向けてもよい

(16) 葬送と出棺

葬送のことば

司式：私たちの主イエス・キリストにより、永遠のいのちに復活する確かな希望をもって、私たちは地上の生涯を終えた神の家族（兄弟／姉妹）_____を全能の神に委ね、その体を土を土に、灰を灰に、塵を塵に返します。

主が_____を祝福し、_____を守ってくださいます。主がそのみ顔をもって_____を照らし、_____を憐れんでくださいます。主が慈しみをもって_____を顧み、_____に平安を賜ります。

会衆：アーメン

または

司式：憐れみ深く、恵みに富み、忍耐強く、慈しみ溢れる神に、私たちは神の家族（兄弟／姉妹）_____を委ねます。死者の中から復活した主イエス・キリストが、私たちの体を栄光の姿に変えてくださることを信じます。

主は、_____に永遠の平安を与え、終わりの日に復活させてくださいます。

会衆：アーメン

出棺（葬送の行進）

万軍の主よ、あなたの住まいはいかに麗しいことでしょう。
わが魂は絶えいるばかりに主の大庭を慕い、わが心とわが身は生ける神にむかって喜び祝います。
すずめがすみかを得、つばめがその雛を入れる巢を得るように、
万軍の主、わが王、わが神よ、あなたの祭壇の傍にわが住まいを得させてください。
あなたの家に住み、つねにあなたをほめたたえる人は幸いです。
その力があなたにあり、その心がシオンの大路にある人は幸いです。
彼らは嘆きの谷を通っても、そこを泉のあるところとします。
また前の雨は池をもってそこを覆います。
彼らは力から力に進み、
シオンにおいて神々の神にまみえるでしょう。
万軍の神、主よ、わが祈りをお聞きください。
ヤコブの神よ、耳を傾けてください。
神よ、われらの盾を御覧になり、
あなたの油注がれた者の顔を顧みてください。
あなたの大庭にいる一日は、よそにいる千日にもまさるのです。
わたしは悪の天幕にいるよりは、むしろわが神の家の門守となることを願います。
主なる神は日です、盾です。神は恵みと誉れを与え、
直く歩む者に良い物を拒まれることはありません。
万軍の主よ、
あなたに信頼する人は、幸いです。(詩編84編より)
(父と子と聖霊の神に栄光があるように。
はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン)

火葬前の祈り

2020・1・17 版
共同式文検討委員会

詩編

目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。わたしの助けはどこから来るのか。
わたしの助けは来る。天地を造られた主のもとから。
どうか、主があなたを助けて、足がよろめかないようにし、まどろむことなく見守ってくださるように。(詩編 121 より)

または

目を上げて、わたしはあなたを仰ぎます。天にいます方よ。
御覧ください、僕が主人の手に目を注ぎ、はしためが女主人の手に目を注ぐように、
わたしたちは、神に、わたしたちの主を目を注ぎ、憐れみを待ちます。
わたしたちを憐れんでください。
主よ、わたしたちを憐れんでください。(詩編 123 より)

特別の祈り

生きている者も死んだ者も、すべての者の主であって、すべてをみ手のうちに治められる神様。
私たちの涙をぬぐい去り、私たちが目をあげて、復活の主を仰ぐことができるようにしてください。地上の体が滅びても、新しい天と地が成就される時、主のみ力によって私たちに栄光のからだにかたどってください。今私たちは、主イエス・キリストによって、復活と永遠の命に至る確かな望みを抱き、逝きし者の亡き骸を、火にゆだね、土を土に、灰を灰に、塵を塵に返します。すべてのものの終わりを清め、美しくしてくださる恵みのみ業を讃えつつ、救い主、み子、主イエス・キリストによって祈ります。
アーメン

祝福

全能の神の慰めと祝福があなたがたと共にあるように。父と子と聖霊のみ名によって。
アーメン

または

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりがあなたがたとともにあるように。
アーメン

または

永遠の契約の血による羊の大牧者、わたしたちの主イエスを、死者の中から引き上げられた平和の神が、み心に適うことをイエス・キリストによってわたしたちにしてくださり、み心を行なうために、すべての良いものをあなたがたに備えてくださるように。栄光が世々限りなくキリストにありますように。
アーメン

火葬後の祈り
(収骨に際して)

2020・1・17 版
共同式文検討委員会

賛美歌 *はじめに賛美歌を歌ってもよい

祈り *骨壺（木箱）の蓋を閉じて祈る。

憐れみ深い神様。御子、救い主イエス・キリストの十字架の死によって、あなたは死の力を打ち砕き、聖なる民のために安らぎの場をお与えくださいました。すべての聖徒たちと共に、神の家族（兄弟／姉妹／幼子）をあなたの御許に憩わせてください。そして終わりの日に、キリストの復活の栄光によってもたらされる永遠の喜びと平安の内に、神の家族（兄弟／姉妹／幼子）_____を復活させてください。私たちもまた、やがてあなたの栄光に与り、喜びに満たされるように、励まし、助けてください。私たちの希望、命の源であるあなたにすべてを委ねます。御子、主イエス・キリストによって祈ります。

アーメン

祝福

全能の神の祝福と慰め、平安があなたがたと共にあるように。父と子と聖霊のみ名によって。

アーメン

火葬後の祈り

2020・1・17 版
共同式文検討委員会

*収骨後、参列者が教会や葬儀が行われた会場または自宅に戻った際に、この祈りを用いることができる。

1. 賛美歌 * 賛美歌を歌ってもよい

2. キリエ

司式：主よ、憐れんでください。

会衆：キリストよ、憐れんでください。

司式：主よ、憐れんでください。

3. 聖書 * 次の聖書箇所、あるいは他の適切な箇所を朗読する。

詩編 42・46・84・116・139

ローマ 5章1～5節（～11節）・ローマ 8章31～39節・黙示録 14章13節・ヨハネ 11章25, 26節
など

*聖書の朗読の後に、みことばからの慰めの奨めがなされてもよい。

4. 祈り

司式：すべてのものの創り主、全能の神様。はかり知れないあなたの御旨によって御許に召された_____を御手に委ねました。この時までのお支えとお導きを感謝いたします。悲しむ者の目から涙を拭い去り、あなたの平安と慰めを与えてください。あなたの御国において再び逢う時まで、私たちがあなたの恵みと希望のうちに誠実に歩むことができるように強めてください。御子、主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

5. 主の祈り

6. 祝福

司式：全能の神の祝福と慰め、平安があなたがたと共にあるように。父と子と聖霊のみ名によって。

会衆：アーメン

召天者記念の祈り

2020・1・17 版
共同式文検討委員会

1. 賛美歌 *初めに賛美歌を歌ってもよい

2. 御名による祝福

司式：父と子と聖霊のみ名によって。

会衆：アーメン

3. 詩編 *司式者は次の詩編を唱える。または交読することもできる。

主はわたしの羊飼い、

わたしには何も欠けることがない。

主はわたしを緑の野に休ませ、

憩いの水のほとりに伴い、わたしの魂を生き返らせてくださる。

主はみ名にふさわしく、わたしを正しい道に導かれる。

死の陰の谷を行くときも わたしは災いを恐れない。

あなたがわたしと共にいてくださる。

あなたの鞭、あなたの杖、それがわたしを力づける。

わたしを苦しめる者を前にしても、

あなたはわたしに食卓を整えてくださる。

わたしの頭に香油を注ぎ、

わたしの杯を溢れさせてくださる。

命ある限り、恵みと慈しみはいつもわたしを追う。

主の家にわたしは帰り、いつまでも、そこにとどまる。(詩編23編より)

(父と子と聖霊の神に栄光があるように。

はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン)

4. キリエ *ここでキリエを唱えてもよい

司式：主よ、憐れんでください。

会衆：主よ、憐れんでください。

司式：キリストよ、憐れんでください。

会衆：キリストよ、憐れんでください。

司式：主よ、憐れんでください。

会衆：主よ、憐れんでください。

5. 特別の祈り

司式：憐れみ深い神様。私たちは今、() 年前／日前に御許に召された_____を偲び、あなたを賛美するため集まっています。あなたは_____に大きな愛を注ぎ、その()年の生涯を豊かな祝福のうちに導いてくださいました。そして、愛する_____に永遠の平安を与えてくださいました。

_____ (彼／彼女) に賜った導きと永遠のいのちのゆえに、心から感謝いたします。ここに集う者に慰めと平安を与え、豊かな祝福を注いでください。私たちの主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

または教会共同体で行われる召天者記念礼拝などで用いる際には以下の祈りを用いることもできる

司式：憐れみ深い神様、私たちは今、過ぎし日にみもとに召された神の家族(兄弟姉妹)を偲び、あなたを賛美するために集まっています。あなたは神の家族(兄弟姉妹)に大きな愛を注ぎ、生涯を豊かな祝福のうちに導いてくださいました。そして、愛する神の家族(兄弟姉妹)に永遠の平安を与えてくださいました。あなたが神の

家族（兄弟姉妹）に賜った導きと、永遠のいのちのゆえに、心から感謝いたします。ここに集う者に、慰めと平安を与え、豊かな祝福を注いでください。私たちの主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

6. 聖書朗読

7. 説教

8. 賛美歌

9. 祈り

司式：いのちの源である神は、み子イエス・キリストによって、私たちを神の子とし、主を信じる者はたとえ死んでも生きると教えられました。私たちは今、この世の旅路を終えた者が、み手のうちに憩いを与えられていることを信じ、神の恵みを祈り求めましょう。

会衆：私たちは、今住んでいる地上の幕屋が壊れても、神が備えてくださる家があることを知っています。

司式：地上における年が満ちて、天にある民の数に加えられた者が、み子イエス・キリストの赦しと憐れみのうちに、永遠に主の宮に住むことを、私たちは信じます。

会衆：それは、人の手によらない永遠の家です。

司式：主はご自身、私たちを迎えると約束し、「わたしのいる所にあなたがたもいることになる」と言われました。

会衆：私たちは、今住んでいる地上の幕屋が壊れても、神が備えてくださる家があることを知っています。

司式：私たちが嘆きのうちにあるときにも、あなたはいのちと望みとを与えてくださいます。

会衆：主の前には、溢れる喜びがあり、主のもとには永遠の楽しみがあります。

司式：いのちの源である神様。あなたは私たちとすべての者にいのちを与え、御手のうちに守り、支えてくださいます。あなたは、御子、主イエス・キリストの十字架の死によって死を滅ぼし、私たちの罪を赦し、復活によって永遠のいのちを与えてくださいました。このはかり知れない恵みを感謝いたします。きょうまで（この（ ）年間）、愛する神の家族（兄弟／姉妹）を御許に送った方々に、多くの慰めを与え、豊かに祝福してくださいました。

（以下の AB いずれかで結ぶ）

→A 聖霊によって私たちを照らし、永遠の御国への希望を与えてください。あなたに召されるその日まで、信仰の歩み続けることができるように、私たちの日々を守り支えてください。復活といのちの主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。

または

→B 聖霊によって私たちを照らし、永遠の御国への希望を与えてください。あなたに召されるその日まで、恵みと平安のうちに歩ませてください。復活といのちの主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。

会衆：アーメン

10. 主の祈り

11. 賛美歌

12. 祝福

司式：復活の主イエス・キリストの恵み、命の源である神の愛、慰め主、聖霊の交わりがあなたがた一同と共にあるように。

会衆：アーメン

納骨の祈り

2020・1・17 版
共同式文検討委員会

1. 賛美歌

2. 御名による祝福

司式：父と子と聖霊のみ名によって

会衆：アーメン

3. 詩編 *司式者は次の詩編を唱える。または交読することもできる。

万軍の主よ、あなたの住まいはいかに麗しいことでしょう。

わが魂は絶えいるばかりに主の大庭を慕い、わが心とわが身は生ける神にむかって喜び祝います。

すずめがすみかを得、つばめがその雛を入れる巢を得るように、万軍の主、わが王、わが神よ、あなたの祭壇の傍にわが住まいを得させてください。

あなたの家に住み、つねにあなたをほめたたえる人は幸いです。

その力があなたにあり、その心がシオンの大路にある人は幸いです。

彼らは嘆きの谷を通っても、そこを泉のあるところとします。

また前の雨は池をもってそこを覆います。

彼らは力から力に進み、シオンにおいて神々の神にまみえるでしょう。

万軍の神、主よ、わが祈りをお聞きください。

ヤコブの神よ、耳を傾けてください。

神よ、われらの盾をご覧になり、

あなたの油注がれた者の顔を顧みてください。

あなたの大庭にいる一日は、よそにいる千日にもまさるのです。

わたしは悪の天幕にいるよりは、むしろわが神の家の門守となることを願います。

主なる神は日です、盾です。

神は恵みと誉れを与え、直く歩む者に良い物を拒まれることはありません。

万軍の主よ。

あなたに信頼する人は、幸いです。

(父と子と聖霊の神に栄光があるように。

はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン)

4. 特別の祈り

司式：全能の神様。私たちは御許に召された愛する神の家族（兄弟／姉妹／幼子）_____の遺骨を今ここに納め、土を土に灰を灰に、塵を塵に返します。御子の死と復活によって、与えられた永遠のいのちを待ち望みます。御子イエス・キリストによって。

会衆：アーメン

5. 聖書 *次の聖書箇所、あるいは他の適切な箇所を朗読する。

ヨハネ黙示録 1 4 章 1 3 節・ヨハネ福音書 1 1 章 2 5 節・ローマ 8 章 1 1 節・ヨハネ福音書 6 章 3 7 節・詩編 1 6 編 9, 1 1 節

6. 説教

7. 賛美歌

8. 納骨 *ここで納骨する。ただし地域の慣習で異なる場合もある。

9. 納骨の祈り

司式：いのちの源である全能の神様。あなたは御子イエス・キリストの死によって死を滅ぼし、栄光の復活によって永遠のいのちを明らかにされました。私たちは、主がこの世を去る者に平安と希望を与え、死と墓に対して勝利をおさめられたことを信じます。私たちは愛する神の家族（兄弟／姉妹／幼子） _____ とともに過ごした喜びの日々を思い起こし、あなたが神の家族（兄弟／姉妹／幼子）に賜った恵みを覚えて感謝いたします。御許に召された者が、み国の栄光に与かることができるようにしてください。また、この世にあってあなたを待ち望む私たちを、すべての者と共に、永遠の交わりのうちに保ってください。いのちと復活の主イエス・キリストによってお祈りいたします。

会衆：アーメン

10. 主の祈り

11. 賛美歌

12. 祝福

司式：全能の神の祝福と慰めが、あなたがたと共にあるように。父と子と聖霊のみ名によって。

会衆：アーメン

墓所開設の祈り

2020・1・17版
共同式文検討委員会

1. 賛美歌 はじめに賛美歌を歌ってもよい

2. 御名による祝福

司式：父と子と聖霊のみ名によって

会衆：アーメン

3. 詩編 * 司式者は次の詩編を唱える。または交読することもできる。

わたしの魂よ、主をたたえよ。

わたしの内にあるものはこぞって、聖なるみ名をたたえよ。

わたしの魂よ、主をたたえよ。

主の御計らいを何ひとつ忘れてはならない。

主はおまえの罪をことごとく赦し、病をすべて癒し

命を墓から贖い出してください。

主は慈しみと憐れみの冠を授け、長らえる限り良いものに満ち足らせ、
驚のような若さを新たにしてください。

主はすべて虐げられている人のために、恵みのみ業と裁きを行われる。

主はご自分の道をモーセに、み業をイスラエルの子らに示された。

主は憐れみ深く、恵みに富み、忍耐強く、慈しみは大きい。

永久に責めることなく、とこしえに怒り続けられることはない。

主はわたしたちを罪に应じてあしらわれることなく、

わたしたちの悪に従って報いられることもない。

天が地を超えて高いように、慈しみは主を畏れる人を超えて大きい。

東が西から遠い程、わたしたちの背きの罪から遠ざけてください。

父がその子を憐れむように、

主は主を畏れる人を憐れんでください。

(父と子と聖霊の神に栄光があるように。

はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン)

または

わたしは主をたたえます。主はわたしの思いを励まし、

わたしの心を夜ごと諭してください。

わたしは絶えず主のみ前にいます。

主は右にいまし、わたしは揺らぐことはありません。

わたしの心は喜び、魂は躍ります。

からだは安心して憩います。

あなたはわたしの魂を陰府に渡すことなく、あなたの慈しみに生きる者に墓穴を見させず、
命の道を教えてください。

わたしはみ顔を仰いで満ち足り、喜び祝い、

右のみ手から永遠の喜びをいただきます。

(父と子と聖霊の神に栄光があるように。

はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン)

または 84 (納骨式の詩編)

4. キリエ

司式：主よ、憐れんでください。

会衆：キリストよ、憐れんでください。

司式：主よ、憐れんでください。

5. 聖書

イスラエルは死ぬ日が近づいたとき、息子ヨセフを呼び寄せて言った。「もし、お前がわたしの願いを聞いてくれるなら、お前の手をわたしの腿の間に入れ、わたしのために慈しみとまことをもって実行すると、誓ってほしい。どうか、わたしをこのエジプトには葬らないでくれ。わたしが先祖たちと共に眠りについたなら、わたしをエジプトから運び出して、先祖たちの墓に葬ってほしい。(創世記 47章 29, 30節)

わたしは天からこう告げる声を聞いた。「書き記せ、『今から後、主に結ばれて死ぬ人は幸いである』と。」「霊”も言う。「然り。彼らは労苦を解かれて、安らぎを得る。その行いが報われるからである。」(ヨハネの黙示録 14章 13節)

6. 祈り

司式：全能の神様。今、私たちは愛する者(たち)の遺骨を納める墓所をここに定めるために集まっています。この墓所を召されたものを偲び、あなたの恵みを思い起こすところとしてください。この墓所のために携わるすべての人たちに恵みと祝福を与えてください。十字架の死から復活し、父と聖霊と共に永遠に生きて治められる御子、私たちの主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

7. 主の祈り

8. 祝福

司式：私たちの主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりがあなたがたと共にあるように。

会衆：アーメン

墓を閉じる際の祈り

2020・1・17 版
共同式文検討委員会

1. 賛美歌 はじめに賛美歌を歌ってもよい。

2. み名による祝福

司式：父と子と聖霊のみ名によって。

会衆：アーメン

3. 詩編唱 *司式者は次の詩編を唱える。または交読することもできる。

万軍の主よ、あなたの住まいはいかに麗しいことでしょう。

わが魂は絶えいるばかりに主の大庭を慕い、わが心とわが身は生ける神にむかって喜び祝います。

すずめがすみかを得、つばめがその雛を入れる巢を得るように、万軍の主、わが王、わが神よ、あなたの祭壇の傍にわが住まいを得させてください。

あなたの家に住み、つねにあなたをほめたたえる人は幸いです。

その力があなたにあり、その心がシオンの大路にある人は幸いです。

彼らは嘆きの谷を通っても、そこを泉のあるところとします。

また前の雨は池をもってそこを覆います。

彼らは力から力に進み、シオンにおいて神々の神にまみえるでしょう。

万軍の神、主よ、わが祈りをお聞きください。

ヤコブの神よ、耳を傾けてください。

神よ、われらの盾をご覧になり、

あなたの油注がれた者の顔を顧みてください。

あなたの大庭にいる一日は、よそにいる千日にもまさるのです。

わたしは悪の天幕にいるよりは、むしろわが神の家の門守となることを願います。

主なる神は日です、盾です。

神は恵みと誉れを与え、直く歩む者に良い物を拒まれることはありません。

万軍の主よ。

あなたに信頼する人は、幸いです。

(父と子と聖霊の神に栄光があるように。

はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン)

4. キリエ

司式：主よ、憐れんでください。

会衆：キリストよ、憐れんでください。

司式：主よ、憐れんでください。

5. 特別の祈り

司式：いのちの神様、御許に召された者を記念するために_____家(_____)の墓所(墓・納骨堂)を整え、用いてくださったことを感謝いたします。私たちは、この墓所を閉じるためにここに集いました。主と共に復活することを信じ、私たちが行うことを祝福し、導いてください。御子、主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

6. 聖書 以下のいずれかを選んで朗読する。

創世記50章24～26節+出エジプト13章19～22節+ヨシュア24章32節
マタイ28章1～8節、マルコ16章1～8節、ルカ24章1～8節
1コリント15章50～58節、ヨハネ黙示録14章13節

7. 説教 ここで説教がなされてもよい

8. 祈り

司式：主なる神さま。地上の生涯を終えて、この世を去った者の亡骸はみな、御言葉の通り、塵となり、土に帰りますが、その命は、すべて、御手のうちに治められます。私たちは、過ぎた日に、_____（_____家の人々）の遺骨（亡骸）をここに葬りましたが、今、この場所（墓・納骨堂）はその役割を終えます。（今までこの場所を用いてくださったことを感謝し）、これからも、この場所を豊かに祝福し、御名の栄光を現してください。

天に召された_____家の一人ひとり（または_____）をあなたの憐れみに委ねます。私たちもまた、地上の生涯を終えるその日まで、あなたに信頼して歩み続けることができるように、導いてください。

この墓所のために働く人たちを守り支えてください。いのちの主であるイエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

*ここで召天者記念の祈りの連祷がなされてもよい。

9. 主の祈り

10. 祝福

司式：全能の神の祝福があるように。父と子と聖霊のみ名によって。

会衆：アーメン

11. 賛美歌 *賛美歌を歌ってもよい。

婚約の祈り 2021118 確定

1. 賛美歌 *ここで賛美歌を歌ってもよい

2. 詩編交読 第92編

司式：いかに楽しいことでしょう

会衆：主に感謝をささげることは

司式：いと高き神よ、御名をほめ歌い、朝ごとに、あなたの慈しみを述べ伝え、

会衆：夜ごとに、あなたのまことを述べ伝えることは。

司式：十弦の琴に合わせ、豎琴に合わせ

会衆：琴の調べに合わせて。

司式：主よ、あなたは御業を喜び祝わせてくださいます。

会衆：わたしは御手の業を喜び歌います。

司式：主よ、御業はいかに大きく

会衆：御計らいはいかに深いことでしょう。

司式：父と子と聖霊に栄光、

会衆：初めも今も永遠に限りなく。アーメン。

3. 聖書 ローマ 15：13 コリント（一） 13：4～7 ガラテヤ 5：16～25 など適切な個所が読まれる。

4. 説教

5. 約束のことば

司式：あなたがたは、将来適切な時に結婚する意志を明かにし、その約束を公にして神の祝福を受けようとしています。あなたがたは、神の祝福のうちに、互いに理解と愛を深め、結婚の日を迎える備えをしなくてはなりません。

_____（さん）と _____（さん）、あなたがたは、今、神の導きのもと、主の愛に基づき、互いに愛し、敬い、結婚の準備をすることを約束しますか。

二人：はい。神の助けによって、約束します。

または

司式：あなたがたは、将来適切な時に人生を共に歩む意志を明らかにし、その約束を公にして神の祝福を受けようとしています。あなたがたは、神の祝福のうちに、互いに理解と愛を深め、その日を迎える備えをしなくてはなりません。

_____（さん）と _____（さん）、あなたがたは、今、神の導きのもと、主の愛に基づき、互いに愛し、敬い、人生を共に歩む準備をすることを約束しますか。

二人：はい。神の助けによって、約束します。

*ここで婚約のしるしを相互に交換してもよい。その場合、互いに次の言葉を言って交換する。

_____（さん）婚約の（または人生を共に歩む備えをする）しるしとして、_____（またはこれ）を贈ります。

6. 特別の祈り

司式：慈しみ深いいのちの神様。あなたの御子イエス・キリストの恵みによって、あなたの子とされている喜びと平安のうちにあなたに近づき、祈ります。将来結婚をする意志を互いに表明し、約束をした二人に、あなたの祝福を豊かにお与えください。結婚と家庭への あなたの祝福を受け止め、二人が責任を考えて、結婚に向けて良い準備ができますように。信仰をもって（または 信頼のうちに）御心を受け入れ、互いに真実な心をもって理解し合うため、知恵と力をお与えください。神と人々の前により交わりを保ち、やがて喜びの日を迎えますように。御子、私たちの主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン。

または

司式：慈しみ深いいのちの神様。あなたの御子イエス・キリストの恵みによって、あなたの子とされている喜びと平安のうちにあなたに近づき、祈ります。将来人生を共に歩む意志を互いに表明し、約束をした二人に、あなたの祝福を豊かにお与えください。二人が決断した歩みへの あなたの祝福を受け止め、二人が責任を考えて、その日に向けて良い準備ができますように。信仰をもって（または 信頼のうちに）御心を受け入れ、互いに真実な心をもって理解し合うため、知恵と力をお与えください。神と人々の前により交わりを保ち、やがて喜びの日を迎えますように。御子、私たちの主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン。

7. 主の祈り

8. 祝 福

司式：主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、常にあなたがたと共にあるように。

会衆：アーメン。

9. 賛美歌 *ここで賛美歌を歌ってもよい

結婚式
(祝福の祈り)

2020・1・17版
共同式文検討委員会

(結婚当事者の入場)

賛美歌

詩編 *以下のいずれかの詩編、またはそのほかの詩編を唱える。司式者が唱えても、交読してもよい。

ハレルヤ。天において主を賛美せよ。

高い天で主を賛美せよ。

御使いらよ、こぞって主を賛美せよ。

主の万軍よ、こぞって主を賛美せよ。

日よ、月よ主を賛美せよ。

輝く星よ主を賛美せよ。

天の天よ 天の上にある水よ

主を賛美せよ。

山々よ、すべての丘よ 実を結ぶ木よ、杉の林よ

野の獣よ、すべての家畜よ 地を這うものよ、翼ある鳥よ

地上の王よ、諸国の民よ 君主よ、地上の支配者よ

若者よ、おとめよ 老人よ、幼子よ。主の御名を賛美せよ。

主の御名はひとり高く

その威光は天地に満ちている。

主は御自分の民の角を高く上げてくださる。

それは主の慈しみに生きるすべての人の榮譽。

主に近くある民、イスラエルの子らよ。

ハレルヤ。

(詩編 148:1-2, 3-4, 9-10, 11-13a, 13c-14a)

主は恵みに富み、憐れみ深く忍耐強く、

慈しみに満ちておられます。

主はすべてのものに 恵みを与え

造られたすべてのものを憐れんでくださいます。

主よ、造られたものがすべて、あなたに感謝し

あなたの慈しみに生きる人があなたをたたえ

ものみながあなたに目を注いで待ち望むと

あなたはときに応じて食べ物をくださいます。

主の道はことごとく正しく

御業は慈しみを示しています。

(詩編 145:8-9, 10, 15, 17-18)

わたしの魂よ、主をたたえよ。

わたしの内にあるものはこぞって聖なる御名をたたえよ。

わたしの魂よ、主をたたえよ。

主の御計らいを何ひとつ忘れてはならない。

主は憐れみ深く、恵みに富み
忍耐強く、慈しみは大きい。
父がその子を憐れむように
主は主を畏れる人を憐れんでくださる。
主の慈しみは世々としえに
主を畏れる人の上にある
恵みの御業は子らの子らに
主の契約を守る人 命令を心に留めて行う人に及ぶ。
(詩編 103:1-2, 8, 13, 17-18a)

全地よ、主に向かって喜びの叫びをあげよ。
喜び祝い、主に仕え、喜び歌って御前に進み出よ。
知れ、主こそ神であると。
主はわたしたちを造られた。
わたしたちは主のもの、その民
主に養われる羊の群れ。
感謝の歌をうたって主の門に進み
賛美の歌をうたって主の庭に入れ。
感謝をささげ、
御名をたたえよ。
主は恵み深く、慈しみはとしえに
主の真実は代々に及ぶ。
(詩編 100)

(詩編の結び)

(父と子と聖霊に栄光があるように。
はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン)

キリエ

司式：主よ、あわれんでください。
会衆：主よ、あわれんでください。
司式：キリストよ、あわれんでください。
会衆：キリストよ、あわれんでください。
司式：主よ、あわれんでください。
会衆：主よ、あわれんでください。

特別の祈り * 司式者は以下のいずれかの祈りを祈る。

司式：私たちの造り主、愛の神様。あなたはすべての人にあなたの愛を示すために、御子イエス・キリストをこの世に遣わされました。今、結婚の約束を交わし、新しい歩み始める二人を祝福してください。あなたと聖霊と共にただひとりの神、永遠の支配者、御子、主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

司式：私たちの造り主、贖い主である神様。み子イエス・キリストがカナの婚宴に出席して、共に喜び、祝福して下さったように、この喜びの式にも共にいて、み前に立つ二人を顧み、祝福してください。あなたの賜物をもって二人を満たし、小羊の婚宴の喜びにやがて与ることができるようにしてください。あなたと聖霊と共に

ただ独りの神、永遠の支配者、御子、主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

司式：私たちの造り主、全能の神様。あなたは人を互いに助け合うものとしてお創りになり、愛の絆で結び、その生活を支えてくださいました。今ここにみ前に立ち、人生を共に歩む決断と約束を表明する者たちを顧み、あなたの祝福を与えてください。あなたの賜物を二人に満たし、清い愛のうちに共に歩み、み心にかなう生涯を送ることができるように助けてください。あなたと聖霊と共にただひとりの神、永遠の支配者、御子、主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

聖書 *適切な聖書の箇所を読む。

説教

賛美歌 *ここで賛美歌を歌ってもよい。

勧め *司式者は二人に向かって言う。

あなたがたは、神と人との前で、尊い愛の約束を交わし、神の祝福を受けるにあたり、今、改めて神の言葉を聞きなさい。

(1) 主イエス・キリストは言われました。「天地創造の初めから、神は人を男と女とお造りになった。それゆえ、人は父母を離れてその妻と結ばれ、二人は一体となる。だから二人はもはや別々ではなく、一体である。」

(マルコ 10:6 ~8)

または

(2) 御子、主イエスキリストは、「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい」と言われました。また、神は聖書を通して、「愛は、すべてを完成させるきずなです。」と私たちに語りかけています。(ヨハネ 13:34、コロサイ 3:14)

結婚の約束 *司式者は二人に向かって言う。

今、わたしはあなたがたに尋ねます。

誓約 * 司式者は結婚する当事者にそれぞれ尋ね、二人はそれぞれ応える。

〇〇さんは、△△さんを、生涯愛し、敬い、誠実を尽くしますか。

「はい。約束します」

△△さんは、〇〇さんを、生涯愛し、敬い、誠実を尽くしますか。

「はい。約束します」

*結婚する二人はお互いに次の約束を交わす。

「私は、幸せな時も苦しい時も、健康な時も病気の時も、富める時も貧しい時も、他の者が見捨てるような時も、あなたと共に歩みます。」

「私は、幸せな時も苦しい時も、健康な時も病気の時も、富める時も貧しい時も、他の者が見捨てるような時も、あなたと共に歩みます。」

*結婚の約束と新しい歩みの記念品として指輪などの交換がされてもよい。

指輪（記念品）の交換

司式：神様。結婚の約束のしるしとして、この指輪（または〇〇）を交換する二人を祝福してください。主イエス・キリストによって。

会衆：アーメン

* 結婚する当事者はそれぞれ次の言葉と共に指輪などを交換する。

「この指輪（または〇〇）は、私たちの結婚の約束のしるしです。」

結婚誓約の署名

* 式中で婚姻届け等の署名が行われる場合、準備された用紙に、二人と関係者が署名する。

祝福

司式：あなたがたの手を合わせなさい。 * 司式者はストールを、結婚当事者の手に巻いてもよい。

司式：〇〇さんと△△さんは、今、結婚の約束を交わし、これを神と私たちの前で表明しました。恵みの神が、あなたがたの新しい歩みを支え、導き、祝福してくださいます。父と子と聖霊のみ名によって。

会衆：アーメン

* 司式者がストールを巻いている際は、ここで解く。

会衆への勧めと祈り * 司式者は会衆に向かって言う

司式：（みなさんに勧めます。）二人の約束を聞いた私たちは、二人が平和な家庭を築くことができるように、助け、支え、祈り、共に歩むことが求められています。

「神が結び合わせたものを、人が離してはならない。」

司式：主なる神さま。今、結婚の約束を交わしたこの二人を祝福し、互いに助け合って歩むことができるように支えてください。二人がこれからも深い愛を育み、あなたの祝福に包まれた家庭を築くことができるように、助けてください。御子、主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

（この後に適当な祈りを加えてもよい。二人や、家族、教会員などの祈りが加えられてもよい。）

主の祈り

祝福

司式：全能の神の祝福があなたがたと共にあるように。父と子と聖霊の御名によって。

会衆：アーメン

（または）

司式：主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがたと共にあるように。

会衆：アーメン

賛美歌 * ここで賛美歌を歌ってもよい。

（結婚当事者の退場）

（※司式者は、選出された役員の氏名、職責等を紹介し、就任する者は前に整列する）

（単独で行う場合）

司式：父と、子と、聖霊のみ名によって。

会衆：アーメン

みことば

司式：（ ）において（ ）に選出された、愛する皆さん。

あなたがたは、主イエス・キリストの聖なる教会の業に召し出されました。今、それぞれの務めに就くにあたり、神のみことばを聞きなさい。

「賜物にはいろいろありますが、それをお与えになるのは同じ霊です。務めにはいろいろありますが、それをお与えになるのは同じ主です。働きにはいろいろありますが、すべての場合にすべてのことをなさるのは同じ神です。一人一人に“霊”の働きが現れるのは、全体の益となるためです。」（I コリ 12：4-7）

誓約

司式：神と会衆の前で、あなたがたに尋ねます。

あなたがたは、それぞれの召された務めにつき、主イエス・キリストの教会のみ業として、（ ）の働きのために奉仕をなし、責任を忠実に果たすことを約束しますか。

（もしそうであるならば「はい、神の助けによって約束いたします」と答えてください。）

就任者：「はい。神の助けによって約束いたします。」

就任の祝福（※跪いてもよい・司式者は按手してもよい）

司式：召された務めを果たすために、聖霊を受けなさい。

就任者：アーメン

会衆への勧め（☆会衆は起立する）

司式：教会の家族であり、（ ）の会員であるあなたがたに勧めます。

（ ）に就任した、この方々の働きを支え、その働きが全うされるように、祈り、励ましてください。

特別の祈り

司式：全能の神さま。み業のために、新たに（役職）を召し出してくださったことを感謝します。選ばれた（名前）が、すべきことを知り、あなたに祈りつつ、その務めを成し遂げることが出来るように、今、与えられた聖霊の賜物によって助けてください。互いに労を負い、共に祝福に与ることが出来ますように。私たちの主イエス・キリストによって祈ります。

会衆）：アーメン

祝福

司式：主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、一同と共にありますように。

会衆：アーメン

勧め

司式：私たちの主イエス・キリストは、洗礼の礼典によってあなた（がた）をキリストのからだである教会の枝として受け入れ、み言葉と聖霊によって、あなた（がた）を導き育て、この世の生活を信仰によって歩ませてくださいます。

今、あなた（がた）の人生と信仰生活における重要な「」を迎えるにあたり、神の祝福と聖霊の導きがますます豊かになるよう願いましょう。

みことば

司式：信仰を改めて告白し、聖霊を受けるために、聖なるみことばを聞きなさい。

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。」（Iテサ5：16～）

「“霊”は、神の御心に従って、聖なる者たちのために執り成してくださるからです。神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということ、わたしたちは知っています。」（ロマ8：27b～）

表明

司式：今、あなた（がた）に尋ねます。

（使徒信条を告白するか、または以下を用いる）

司式：全能の父なる神をあなたは信じますか。

答え：はい、信じます。

司式：父の独り子、私たちの主イエス・キリストを信じますか。

答え：はい、信じます。

司式：聖霊を信じますか。また聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、からだの復活、永遠のいのちをあなたは信じますか。

答え：はい、信じます。

司式：あなたは、神が与えてくださった恵みに感謝しつつ、み言葉に従って歩み、この度「」を迎えました。これからも、神の祝福のうちに、キリストの教会の交わりの中で、主に従い、隣人に仕え、福音の証し人として生活しますか。

答え：はい、神が私を助け、導いてくださるよう。

受接手者のための祈り

司式：全能の神さま。今、「」を迎える（名前）を、聖霊の賜物によって力づけ、祝福してください。あなたの変ることのないお導きと守りを信じ、これからの歩みを、喜びをもって送ることができるよう支えてください。

按手（司式者は受按手者の頭に手を置いて祈る）

司式：主なる神さま。主イエス・キリストによって（名前）のうちに、あなたの聖霊の賜物を奮い起こし、正しい信仰生活を保ち、豊かな祝福を受けることができますように。アーメン。

受按手者（及び会衆）への勧め

司式：聖霊を受けたあなた（がた）は、主にあつてますます互いに愛し合い、隣人に仕え、福音を証しするように務めなさい。

（会衆がある場合）

この神の家族（兄弟／姉妹）に「」を迎えさせてくださった神に感謝し、この神の家族（兄弟／姉妹）と共に、さらにキリストに倣い、従う歩みを進めてください。

祈り

司式：全能・永遠の神さま。今、愛する（名前）の「」に当たり、あらためて信仰を確認し、聖霊を通して豊かに祝福してくださったことを感謝します。これからも、人生に必要な賜物を備え、あなたの慈しみと愛を忘れることなく、信仰の旅路を続けることができるように導いてください。み子、主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

祝福

司式：父と子と聖霊なる全能の神の祝福が、あなたがた一同と共にあるように。

会衆：アーメン

※「」には堅信、受洗記念、こども祝福（七五三等）、成人、入学、卒業、就職、退職、退院、結婚記念（銀・金婚式等）、喜寿、米寿、卒寿等を入れる。

癒しの祈り

2020・1・17版
共同式文検討委員会

司式：主イエス・キリストは神の国のしるしとして多くの人々を癒し、その業のために弟子たちを世に遣わされました。弟子たちは主の御名によって祈り、手を置き、油を注いで癒し、神の力と臨在を顕しました。偉大な癒し主、また、和解の主キリストの御名において、私たちは今、希望と癒しを求める全ての人々を神の憐れみに委ねます。神がキリストの限りない恵みによって、人々の悲しみや苦しみを癒し、霊においても肉においても救ってくださいますように。

司式：希望と癒しを必要とする人々のために祈りましょう。

祈祷：私たちの初めであり、最後に帰るべき家である愛の神様。私たちはこの地上で受けた命と、洗礼によって与えられた新たな命を覚え、あなたに感謝します。主よ、憐れんでください。

会衆：私たちの祈りを聞いてください。

祈祷：憐れみ深い神様。あなたの独り子の十字架の傷によって全ての人々に希望と回復を与えてください。主よ、憐れんでください。

会衆：私たちの祈りを聞いてください。

祈祷：聖なる神様。あなたの霊は洗礼の水によって、私たちを聖徒たちの交わりへ導いてくださいました。キリストの死と復活による洗礼の恵みによって、私たちを新たにしてください。主よ、憐れんでください。

会衆：私たちの祈りを聞いてください。

祈祷：力なる神様。あなたの御独り子は全ての者に希望と癒しを与えてくださいました。今、病気や悲嘆の中にある全ての人、希望を失った全ての人を癒してください。主よ、憐れんでください。

会衆：私たちの祈りを聞いてください。

祈祷：柔和な神様。あなたの御独り子は子どもたちを御もとへ招かれました。病気や障がいや苦しむ子どもたちを助けてください。子どもたちを御腕に抱き、あなたの恵みによって養い育ててください。主よ、憐れんでください。

会衆：私たちの祈りを聞いてください。

祈祷：苦しむ人々の力、情け深い神様。精神的に苦しんでいる人、肉体的に苦しんでいる人、ストレスにより苦しんでいる人、苦しむ全ての人々に希望と平和を与えてください。主よ、憐れんでください。

会衆：私たちの祈りを聞いてください。

祈祷：人間の知識の源である全能の神様。医療に従事する全ての人々に知恵と技術と人を思いやる心を与えてください。主よ、憐れんでください。

会衆：私たちの祈り聞いてください。

祈祷：私たちの贖い主である愛の神様。家族の一人一人、友人、そして介護する人々に、希望と愛に満ちた柔和な心を与えてください。主よ、憐れんでください。

会衆：私たちの祈りを聞いてください。

祈祷：平和と和解の神様。私たちの世界を脅かす戦争、暴力、テロ、差別、そしてあらゆる争いを終結させ、イエス・キリストの愛によって、互いを隔てる憎しみ、敵意、妬みから私たちを守ってください。主よ、憐れんでください。

会衆：私たちの祈りを聞いてください。

*ここに、災害被災者のため、救援従事者のための祈りを加える。

祈祷：・・・・・・・・・・主よ、憐れんでください。

会衆：私たちの祈りを聞いてください。

司式：憐れみ深い神様。御前に集う全ての人々を支えてください。人々の苦しみを取り除き、確かな希望を与え、あなたへの信頼を深めることができますように。私たちの主イエス・キリストの御名によって祈ります。

会衆：アーメン

祝福 と 塗油

司式：御言葉を聞きましょう。

朗読：ヤコブの手紙 5章13節～16節A

司式：祈りましょう。

命あるすべてのものの源である神様。人間の苦しみを知り、癒すために、御子イエス・キリストを人としてこの世にお送りくださったことを感謝します。私たちを用いて、この油を通して、聖霊の力によって全ての人を癒し、祝福してください。病人を救い、主がその人を起き上がらせてくださいますように。

会衆：アーメン

司式：私たちは三位一体の神の御名において、癒しと回復のしるしを受けるように招かれています。苦しみ、悲しみの中にある私たちを神に委ね、癒しと祝福を受けましょう。

*会衆は祝福と塗油を受ける。

祝福

司式：_____さん、キリストがあなたと共におられ、あなたを慰め、支え、守り、神の恵みで満たし、強めてくださいますように。父と子と聖霊の御名によって。

アーメン

塗油

司式：イエス・キリストの御名によって、赦しと癒しのしるしとしてこの油を受けなさい。アーメン

司式：祈りましょう。

癒し主・憐れみ深い神様。力と命、世界の救い、人間性の回復をお与えくださり感謝します。聖霊によって私たちを支え、あなたの力を感じ、あなたの限りない愛を知ることができますように助けてください。私たちの主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

*続けて、聖餐式を執り行う場合は、次の祈りを配餐後の祈りとして用いても良い。

配餐後の祈り

司式：祈りましょう。

限りない憐れみの神様。あなたは命のパンである独り子をこの世に送り、祝福の杯を私たちにお与えくださいました。私たちは癒しの源であるこの聖餐の礼典をお与えくださったあなたに感謝します。私たちの全てを癒し、キリストの体と血によって希望と信仰で満たし、私たちを強め、聖霊によって力をお与えください。主イエス・キリストの御名によって。

会衆：アーメン

派遣の祝福

司式：全ての人の慰めである神が、人生の旅路においてあなたを祝福し、希望をお与えくださいます。

神があなたを救い、あなたに復活の命をお与えくださいます。

神があなたの心を平和で満たし、あなたと共にいてくださいます。

全能の神の祝福がみなさんの上に豊かにありますように。

父と子と聖霊の御名によって。

会衆：アーメン

